

市内遺跡 14

—令和元年度 埋蔵文化財発掘調査報告書—

2020.7

茅野市教育委員会

市内遺跡 14

—令和元年度 埋蔵文化財発掘調査報告書—

2020.7

茅野市教育委員会

序 文

茅野市は長野県南東部に位置する風光明媚な高原都市です。東に八ヶ岳連峰、西に赤石山脈から続く山脚、北に霧ヶ峰山塊を擁し、霧ヶ峰の南麓からは遠く富士山を望むことができます。

当市には特別史跡尖石遺跡、史跡上之段遺跡や駒形遺跡をはじめとする多くの縄文時代の遺跡、更には国宝土偶「縄文のビーナス」、「仮面の女神」を保有するなど、「縄文の里」として全国にその名を知られています。それらの縄文遺跡にかくれがちであった弥生時代から江戸時代の遺跡も、市街地周辺における近年の発掘調査の蓄積によって、各時代の生活の様相が明らかになりつつあります。

当市では市内各所で行われる各種開発事業と遺跡の保護・調整を図るために、国庫補助事業による試掘調査ならびに本調査等を進めてきました。その中で令和元年度に実施した38件の調査成果が本報告書にまとめられています。

報告する発掘調査は、いずれも遺跡の一部を対象に行われた小規模なものですが、このような調査を地道に繰り返し行うことで、遺跡の広がりやその性格が解き明かされていくものと期待されます。

最後になりましたが、発掘調査にご理解とご協力を賜りました地権者ならびに事業関係者の皆さま、調査に従事された作業員の皆さまに心からお礼を申し上げます。

令和2年7月

茅野市教育委員会
教育長 山田利幸

例 言

- 1 本書は長野県茅野市が令和2年度に国宝重要文化財等保存整備費補助金を受け作成した、令和元年度の各種開発事業に伴う市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 本書に掲載した遺跡は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに調査した遺跡である。
- 3 整理作業ならびに報告書作成は、令和元年11月2日から令和2年6月30日に実施した。
- 4 各遺跡の所在地は本文中に記した。
- 5 本調査に係わる出土品、諸記録は茅野市尖石縄文考古館で収蔵・保管している。
- 6 発掘調査から報告書作成までに、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課の諸氏からご指導、ご助言を頂いた。記して感謝する次第である。

凡 例

- 1 本書における挿図の縮尺は、挿図中に記している。
- 2 本書の掲載は試掘調査と本調査及び工事立会に分け記載したが、造成工事に伴う試掘調査の後に行った個人住宅の工事立会は、関連があるため試掘調査の記述の後に掲載している。

目 次

第1章 市内遺跡発掘調査等事業の概要	1
第1節 茅野市における埋蔵文化財保護の概要	1
第2節 令和元年度事業の概要	1
第3節 調査の体制	1
第2章 試掘調査	3
第3章 本調査及び工事立会	24
抄録	

第1章 市内遺跡発掘調査等事業の概要

第1節 茅野市における埋蔵文化財保護の概要

令和2年3月現在、茅野市における周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡とする）は348箇所である。遺跡内およびその隣接地で開発行為が計画された場合、事業者と市教育委員会との間で埋蔵文化財保護に関わる取り扱いを協議し、試掘調査（確認調査）の実施を基本に埋蔵文化財（遺構・遺物）の有無を確認することになっている。埋蔵文化財が確認された場合、工事の計画変更による遺跡の現状保存を事業者に求めているが、やむを得ず失われる場合には、事業者の協力を得て本調査による記録保存を実施している。

近年の当市における発掘調査等は、ほ場整備・土地区画整理・幹線道路新設事業などの公共性の高い大規模な開発に伴うものから、宅地造成・集合住宅建築・個人住宅建築工事などの、民間・個人が事業者となる小規模な開発に伴う発掘調査へと移行している。今後もこのような小規模開発に伴う調査は増加の一途を辿ることが予想される。平成29年度には、宅地造成工事が計画され、試掘調査を実施し、本報告書にもその結果を報告している。試掘調査の結果、本発掘調査が必要となり、本年度実施したが、その成果については別に本年度報告予定である。

第2節 令和元年度事業の概要

令和元年度に受理した『土木工事等のための埋蔵文化財発掘の届出書（93条第1項）』ならびに『土木工事等のための埋蔵文化財発掘の通知書（94条第1項）』は61件である。

この中で令和元年度国宝重要文化財等保存整備費事業補助金の「市内遺跡発掘調査等事業」の対象事業は、試掘調査が9件、本調査及び工事立会が27件、補助対象事業費は保存目的で実施した尖石遺跡の発掘調査を含め3,396,622円であった。

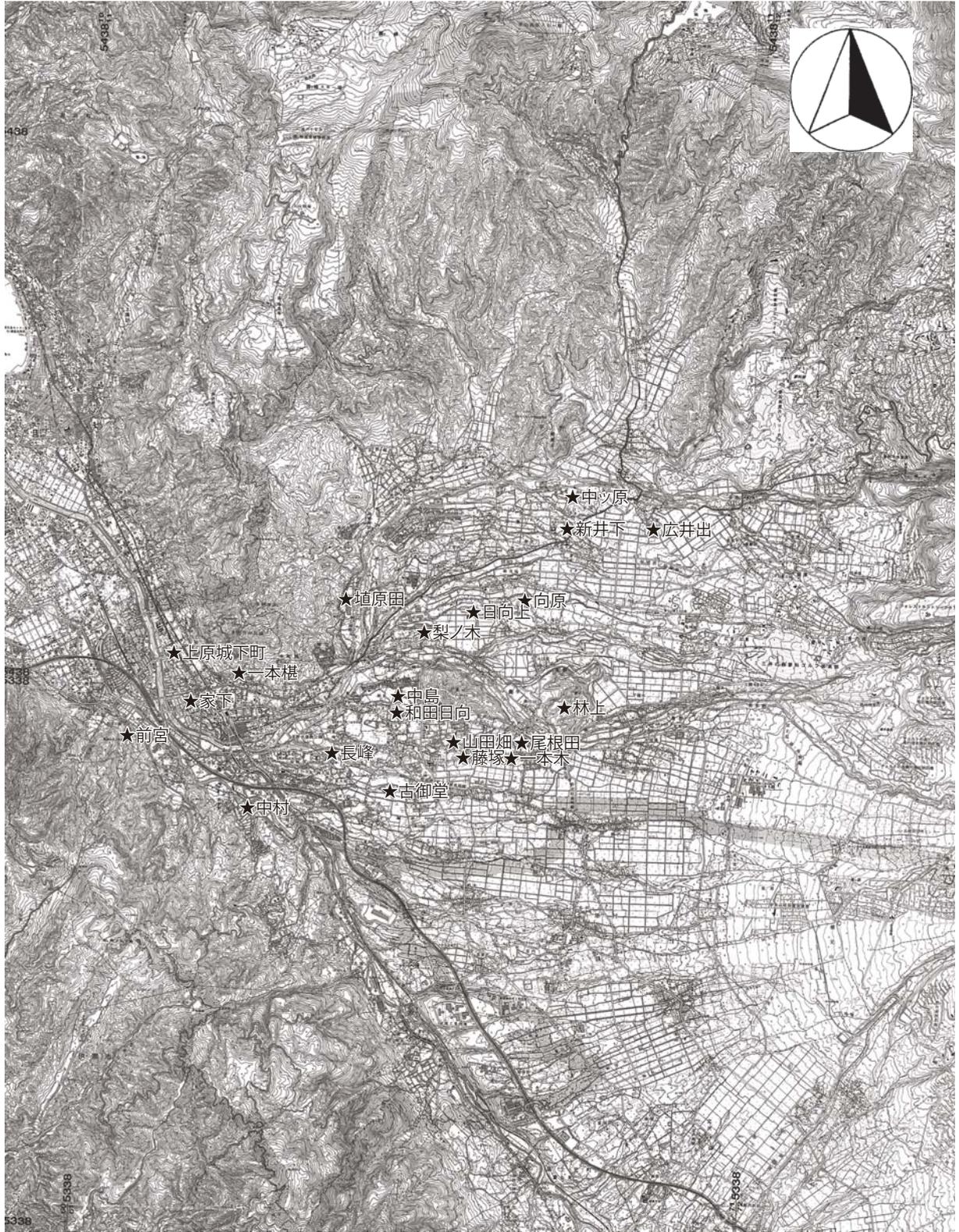
国特別史跡尖石石器時代遺跡の与助尾根地区について、後日別に報告する。

本報告では、予算執行を伴わない工事立会についても掲載したが、地下の遺構に影響がないと判断した慎重工事14件については割愛した。

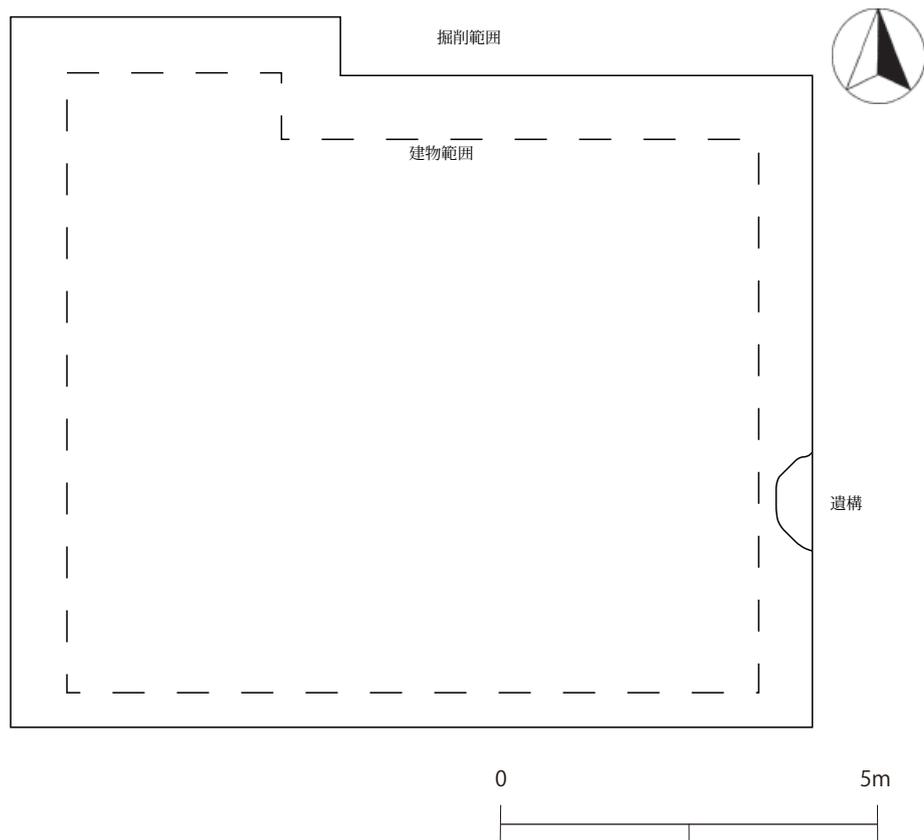
第3節 調査の体制

発掘調査は茅野市教育委員会事務局文化財課が実施した。令和元年度の組織は下記のとおりである。

- ① 調査主体者 教育長 山田利幸
- ② 事務局 生涯学習部長 平出信次（令和2年3月まで）
北沢政英（令和2年4月より）
- ③ 文化財課・尖石縄文考古館
両角勝元（文化財課長 令和2年3月まで）
五味健志（文化財課長 令和2年4月より）
守矢昌文（尖石縄文考古館長・尖石史跡整備担当）
小池岳史（文化財係長）
山科 哲（考古館係長）
大月三千代 両角優花 堀川洸太郎 小林深志 鶴飼幸雄
- ④ 調査担当 堀川洸太郎 小林深志 鶴飼幸雄
- ⑤ 発掘調査参加者
補助員 酒井みさを 大勝弘子 武居八千代 立岩貴江子
- ⑥ 令和元年度・2年度整理作業担当者
堀川洸太郎 小林深志 鶴飼幸雄



第1図 調査遺跡位置図 (1/100,000) (工事立会を含む)



第3図 新井下遺跡遺構配置図 (1/100)



図版1 調査風景 (東から)



図版2 遺構検出状態 (東から)

遺跡番号 59-21
 所在地 茅野市湖東 5453 番 1、5453 番 3、5460 番 1 の一部
 調査原因 倉庫建設
 調査期間 令和元年 12 月 13 日～ 12 月 16 日
 調査面積 289.9㎡
 遺 構 土坑、方形柱穴列
 遺 物 縄文土器、黒曜石、縄文石器

2 調査の概要

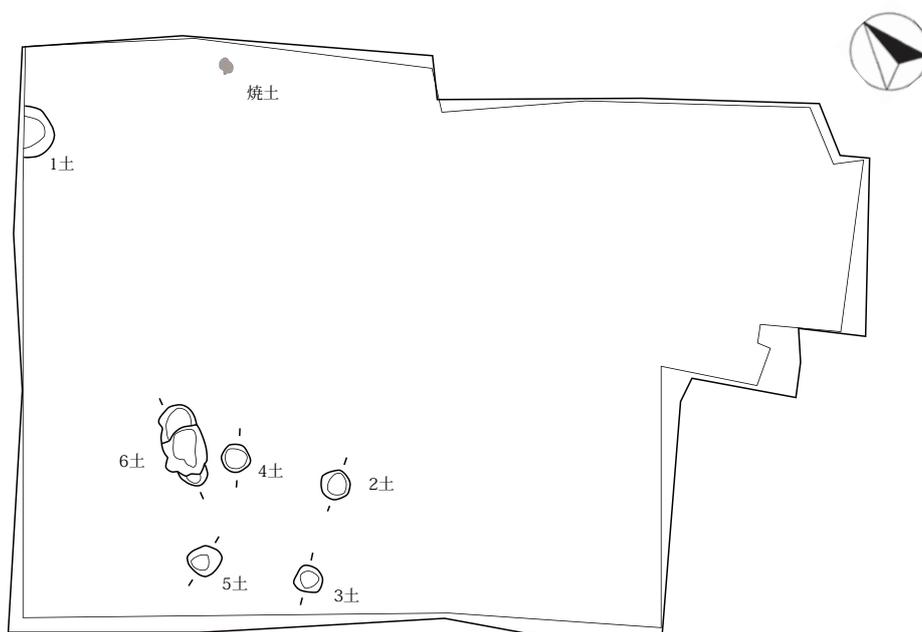
新井下遺跡の東端の、工場に隣接する地点で倉庫の建設が計画された。計画では基礎工事で深さ約1mの掘削が行われるため、掘削の深度が遺構検出面に達する可能性の高いものと判断し、試掘調査を行いその結果をもって改めて協議することとした。

計画地にはすでに建物が建っていたため、その解体にともなって調査を始めた。調査区北隅に土坑1基、南西に土坑1基および方形柱穴列1基が検出された。

本調査は試掘調査の結果を受け、事業者と協議を行い、発掘調査を行うこととなり、委託契約を締結した後引き続き調査に入った。発掘調査の成果については、令和2年3月に刊行している。

遺構配置図は、発掘調査後のものを掲載した。

茅野市教育委員会 2020.3 『新井下遺跡－令和元年度 倉庫建築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』



第4図 新井下遺跡遺構配置図(1/200)



図版3 調査風景(南東から)



図版4 調査風景(東から)

2 中ッ原遺跡

遺跡番号 60-1

所在地 茅野市湖東 6452 番 1

調査原因 太陽光発電施設建設

調査期間 令和元年 7 月 23 日～ 8 月 26 日

調査面積 108.4㎡

遺 構 縄文住居址 4、土坑 3

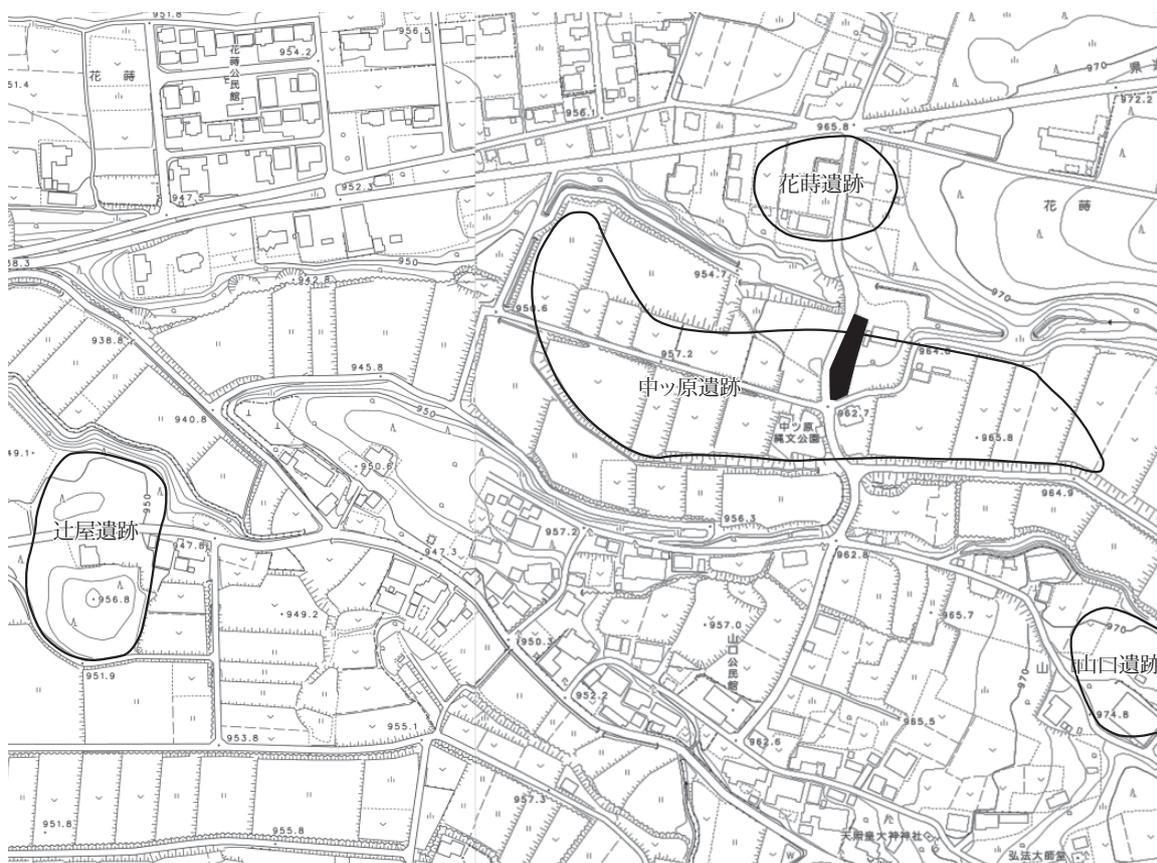
1 遺跡の概要

中ッ原遺跡は縄文時代の大規模な集落遺跡で、平成 11 年に遺跡一帯で計画された農地盤整備事業にともない発掘調査が行われた。平成 12 年には、のちに国宝に指定される土偶「仮面の女神」が出土している。また附指定の縄文時代後期の浅鉢 8 点は、集落中央の墓坑とみられる土坑群から出土し、当時の葬制を考えるうえで重要な資料である。

2 調査の概要

今回の調査は、太陽光発電施設建設にともなうものである。内容は太陽光パネル 7 基のほか、引込柱、パワーコンディショナーを設置する。パネルは 1 基につき直径約 20cm、深さ 140cm ほどの支柱 6 本により固定し、パワーコンディショナーも支柱により支持する。また引込柱は直径 20cm のものを 1m の深さで打ち込み設置する。

計画地は中ッ原縄文公園の斜向かいに位置し、公園敷地内に検出された環状集落の一部が続いていること



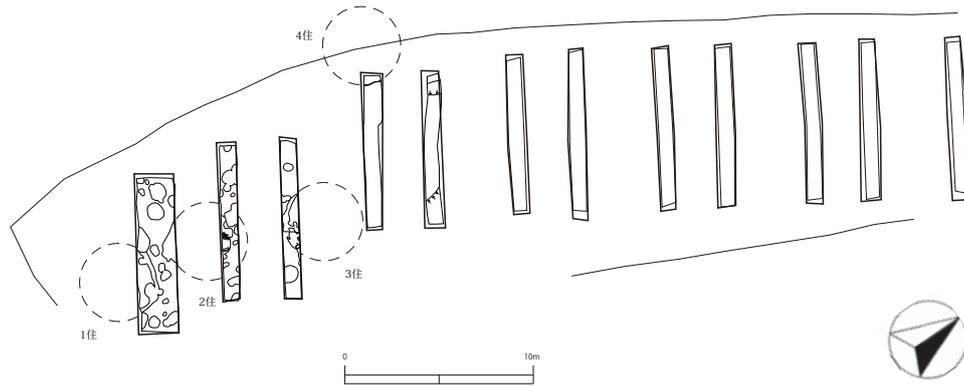
第 5 図 中ッ原遺跡調査地点図 (1/5000)

が推定され、また多くの遺物の散布箇所が確認された。

調査はパネル設置予定箇所について、重機によりトレンチを入れ調査を行った。南側から北側へと掘削を進めていったが、南側のトレンチから住居址になると考えられる掘り込みと遺物が出土し、続いて土坑が検出されていった。また計画地北は、谷となって地山面が深く落ち込んでいた。

この結果を基に開発者と協議を行った結果、遺構の検出されている南側の範囲を事業から除外し、北側での開発にとどめることで合意できた。

検出した遺構は、平面プランの測量をした後に埋め戻しを行い、保存されている。また、出土した遺物は地点を記録し、取り上げを行っている。



第6図 中ッ原遺跡調査範囲図 (1/400)



図版5 調査風景 (南から)



図版6 遺構検出状態 (東から)



図版7 調査風景 (北から)



図版8 住居址埋葬炉 (北東から)

3 梨ノ木遺跡

遺跡番号 77-5

所在地 茅野市豊平 4927 番 1、7280 番 1

調査原因 建設資材置場

調査期間 令和元年 7 月 19 日～7 月 23 日

調査面積 298.6㎡

遺構 なし

遺物 なし

1 遺跡の概要

梨ノ木遺跡は八ヶ岳西麓の尾根先端に近い台地上にあり、標高は 900m 前後である。平成 8 年・10 年の圃場整備事業、平成 9 年度の市道建設事業等により、計 23,000㎡が発掘調査され、縄文時代住居址 91 軒、平安時代住居址 18 軒等の遺構が発掘されている。縄文時代の集落は前期末から中期中葉まで継続して営まれ、最終的な形態は環状集落が二つ並列する双環状を呈している。遺構の遺存状態が良好で、集落の変遷を明確にたどることができる。また、当該期の優良な資料が数多く出土している。

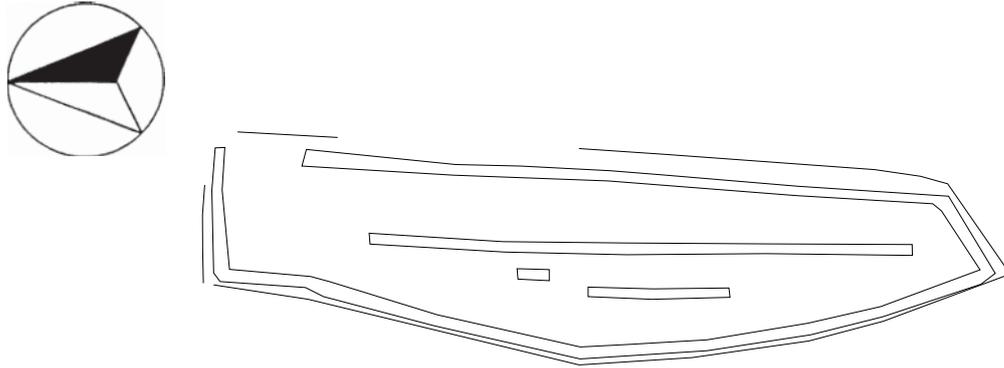


第 7 図 梨ノ木遺跡調査地点図 (1/5000)

2 調査の概要

今回の調査は、建設資材置場建設工事にともなうものである。工事では敷地全体で現況地盤から30cm程度の鋤取りをおこない、20cm程の厚さで碎石を敷き、アスファルト舗装をする。また敷地周囲はL字形擁壁を設置するため、現況地盤から50cmほど掘削する。今回の工事予定地から南西に50mほどの区画では平成7年に集合住宅の建設がおこなわれている。その際に縄文時代中期中葉の住居址の不時発見があり、調査がおこなわれた。こうした過去の調査から本計画地にも遺構が残存する可能性が考えられた。

調査は事業者より重機の提供を受け、トレンチを入れ調査を行ったが、遺構および遺物は確認されなかった。



第8図 梨ノ木遺跡調査範囲図 (1/800)



図版9 調査風景（南から）



図版10 調査風景（北から）

4 向原遺跡

遺跡番号 79-14

所在地 茅野市豊平 2471-1

調査原因 宅地造成

調査期間 令和2年2月18日～3月25日

調査面積 80㎡

遺構 なし

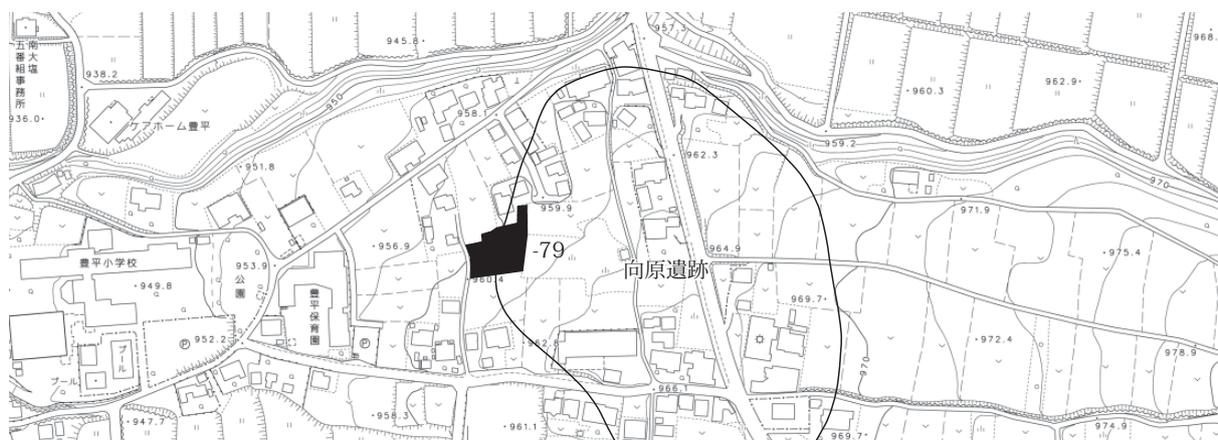
遺物 なし

1 遺跡の概要

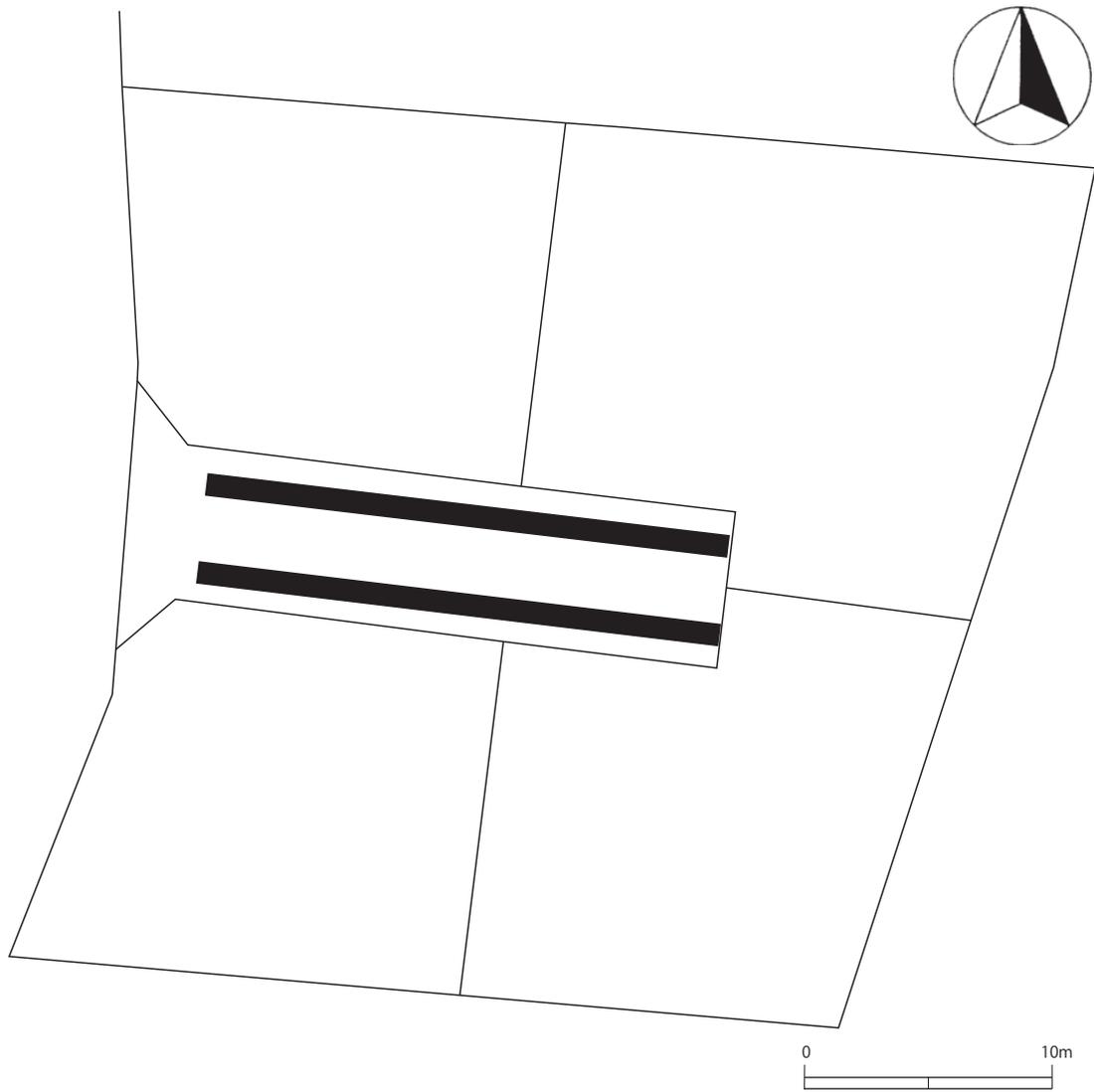
向原遺跡は縄文時代前期から中期の土器と石器の散布が確認されている遺跡である。これまで周辺の個人住宅・共同住宅の建設工事にともなう工事立会を実施しているが、遺構の検出には至らず、遺跡の実態は判然としていない。

2 調査の概要

調査は宅地造成工事にともなうものである。進入路建設と擁壁工事に立ち会い、遺構が発見された場合は記録保存を行うこととした。現場は台地上の畑であり、西北方向にむかって僅かに傾斜している。工事では敷地の東南隅を除き盛土をして造成をおこなう計画であった。2月18日には進入路部分の掘削がおこなわれたが、現況地盤から約60cm～70cm程でローム面に達し、遺物・遺構は確認されなかった。3月25日の北辺の擁壁の掘削では、約60cm～1m程でローム面を確認した。こちらでも遺構および遺物は検出されなかったため、本工事による遺跡への影響はないものと判断し、調査を終了した。



第9図 向原遺跡調査地点図 (1/5000)



第 10 図 向原遺跡調査範囲図 (1/300)



図版 11 進入路部分調査風景（西から）



図版 12 擁壁部分調査風景（西から）

5 家下遺跡

遺跡番号 110-67

所在地 茅野市ちの2575-2

調査原因 宅地造成

調査期間 令和元年7月18日

調査面積 667.17㎡

遺構 なし

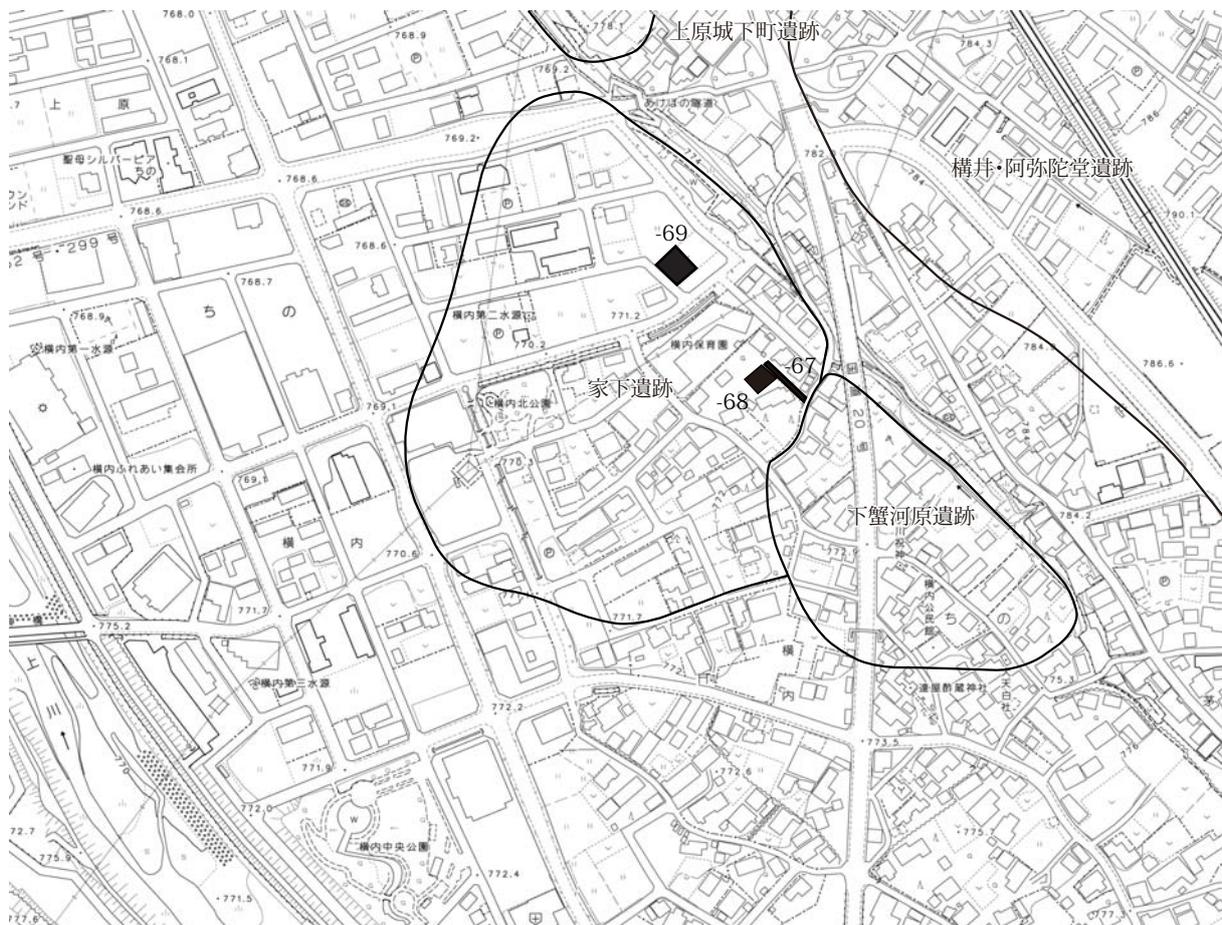
遺物 なし

1 遺跡の概要

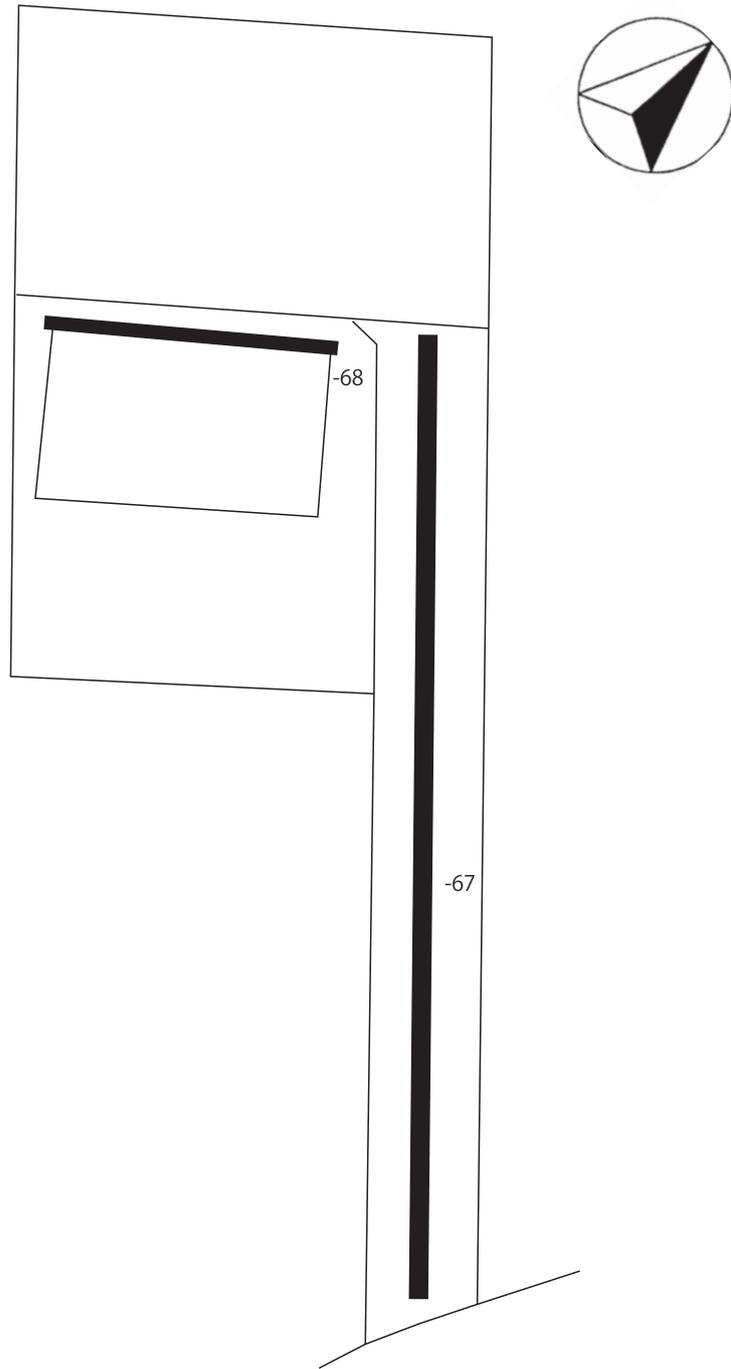
家下遺跡はJR茅野駅の西に走る断層崖下の沖積低地に立地する。時代的には縄文時代から近世まで継続する集落遺跡で、現時点において時代の中心は弥生時代から古墳時代である。平成6年から3カ年かけておこなわれた土地区画整理事業に伴う発掘調査を端緒とし、集合住宅・個人住宅建設工事などに伴う大小の発掘調査により、遺跡の実態が徐々にあきらかにされつつある。平成25年度の保育園建て替えに伴う発掘調査では弥生中期から平安前期までの14軒の住居址が検出されている。

2 調査の概要

今回の調査は宅地造成（進入路建設）工事によるものである。宅地造成に至る進入路を、事業者の協力を得て重機を用いて掘削面まで掘り下げを行った。幅1m、長さ40mの範囲を60cmほど掘り下げると、砂地となる遺構確認面となるが、遺構の検出はなく、遺物の出土もなかった。



第11図 家下遺跡調査地点図(1/5000)



第 12 図 家下遺跡調査範囲図 (1/300)



図版 13 調査風景（東南から）



図版 14 土層堆積状態

遺跡番号 110-68
 所在地 茅野市ちの 2575-6、-7
 調査原因 個人住宅建築
 調査期間 令和 2 年 1 月 8 日
 調査面積 334.68㎡
 遺 構 なし
 遺 物 なし



図版 15 調査風景（東から）

遺跡番号 110-69
 所在地 茅野市ちの字横内境 296 番地
 調査原因 駐車場造成
 調査期間 令和 2 年 3 月 23 日
 調査面積 600㎡
 遺 構 なし
 遺 物 なし



図版 16 調査風景（南から）

6 前宮遺跡

遺跡番号 129-25-2

所在地 茅野市宮川 2044、2041、2042

調査原因 公園建設

調査期間 令和元年 4月 26日～6月 6日

調査面積 52.4㎡

遺構 なし

遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、かわらけ

1 遺跡の概要

前宮遺跡は縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世の遺構、遺物がのこる遺跡である。遺跡内には古墳群が構築されている。中世には諏訪神社大祝の居館があったところで、諏訪神社の重要な神事がおこなわれ、その一部が諏訪大社上社前宮神殿跡として長野県史跡に指定されている。

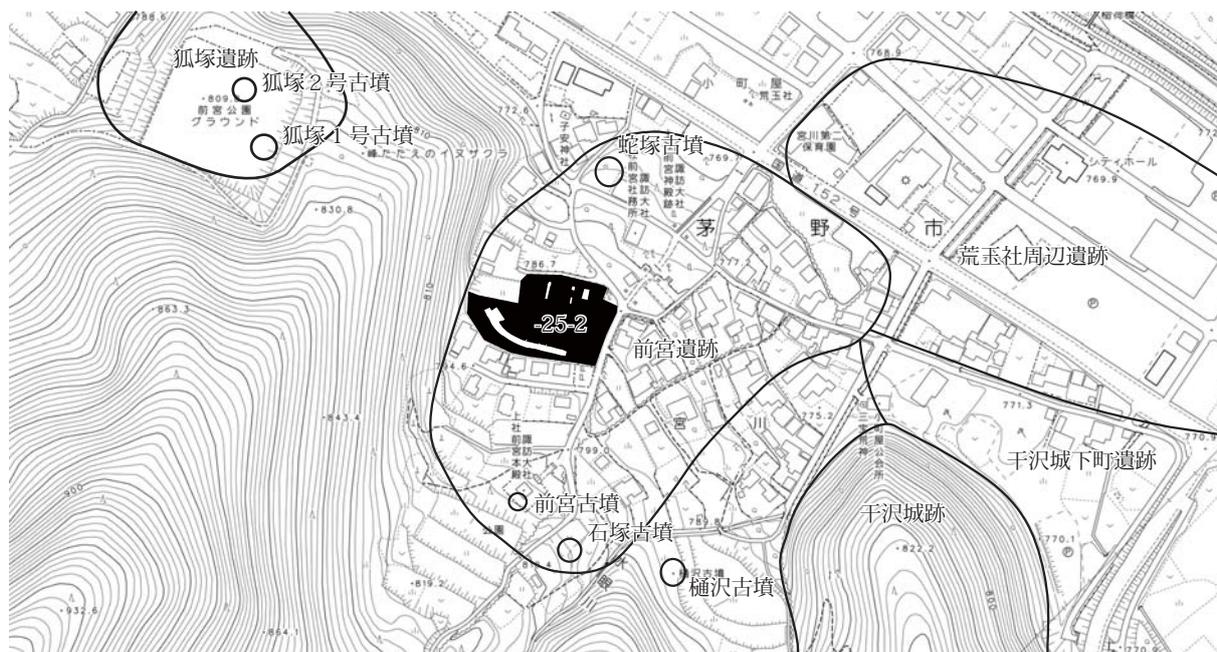
2 調査の概要

今回の調査は、地元の歴史や観光情報などの発信及び来訪者の休憩場所とする施設の建設、及び交流広場として整備するための工事にともなうものである。昨年、平成 30 年度に上段の試掘調査を行い、古墳時代～中世の遺構を検出しており、遺構に影響を与えることが考えられることから、平成元年度に発掘調査を実施している。

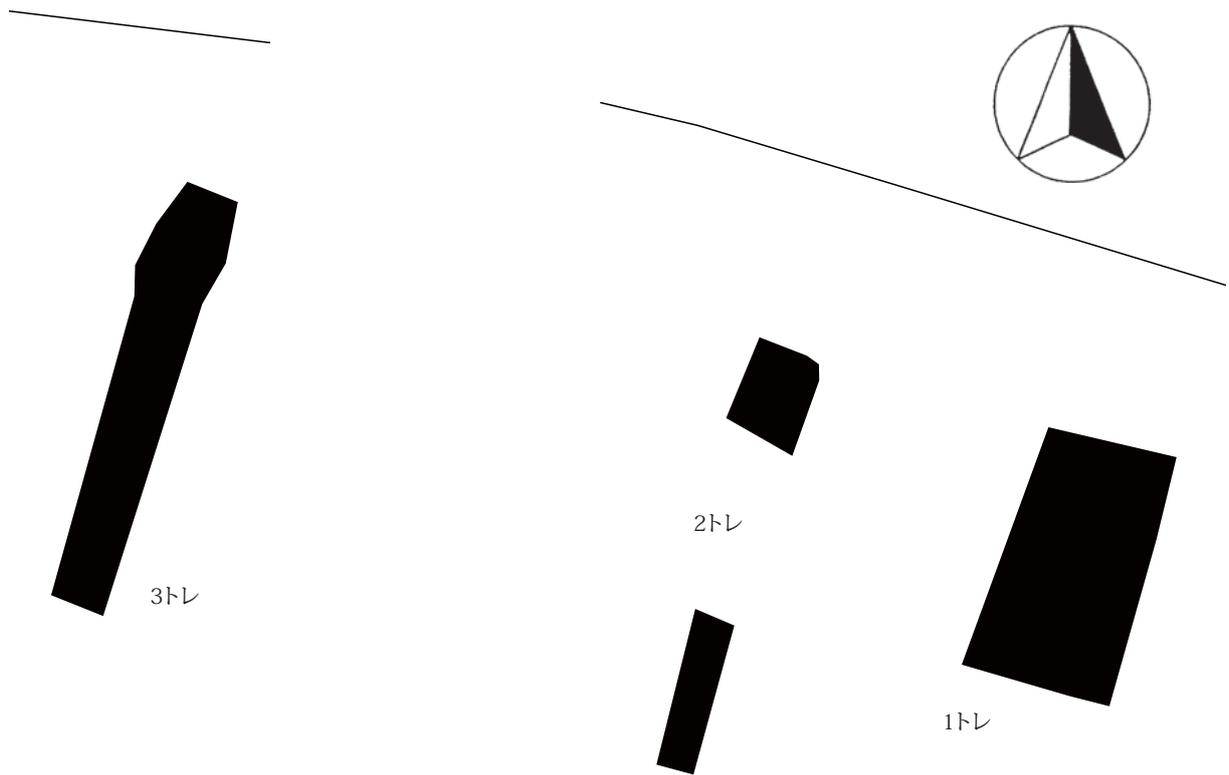
今年度試掘調査を行った下段は、建物を建設する個所であるが、建物の位置などが定まっておらず、昨年度試掘調査を行うことができなかったため、今年度改めて実施し、その結果を基に協議することとなった。

試掘調査は、交流施設建設予定箇所について、3つのトレンチを設定し深さ約 2m から 3m の掘削をおこなった。その結果、当地点では上層は盛土による造成がおこなわれていることが明らかになり、小さな土器片が出土したものの遺構の検出はなかった。遺構の検出はなかったものの、第 1 トレンチの盛土下には遺物包含層が認められ、須恵器の完形品が出土したほか、古代～中世の土器・陶器片が出土した。

試掘調査の結果、建物建設範囲の掘削深度が遺物出土している面より高い位置に設定されていることが確認でき、遺構があったとしても工事に影響されず保護されることから、発掘調査は実施しなかった。



第 13 図 前宮遺跡調査地点図 (1/5000)



第 14 図 前宮遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 17 調査風景 (北から)



図版 18 第 1 トレンチ (西から)

7 長峰遺跡

遺跡番号 145-27

所在地 茅野市玉川 4605-1、4605-2

調査原因 店舗建築工事

調査期間 令和2年1月8日

調査面積 12.8㎡

遺構 なし

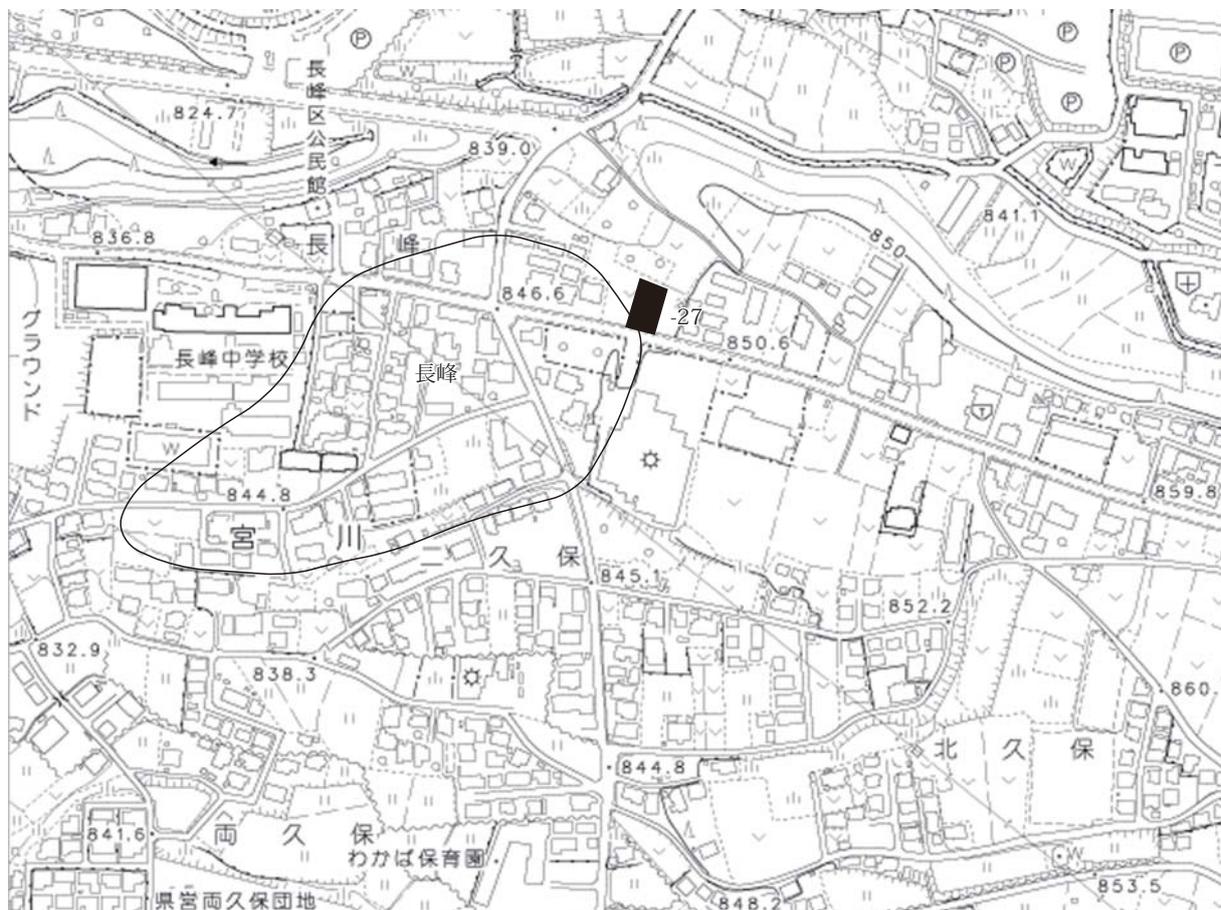
遺物 なし

1 遺跡の概要

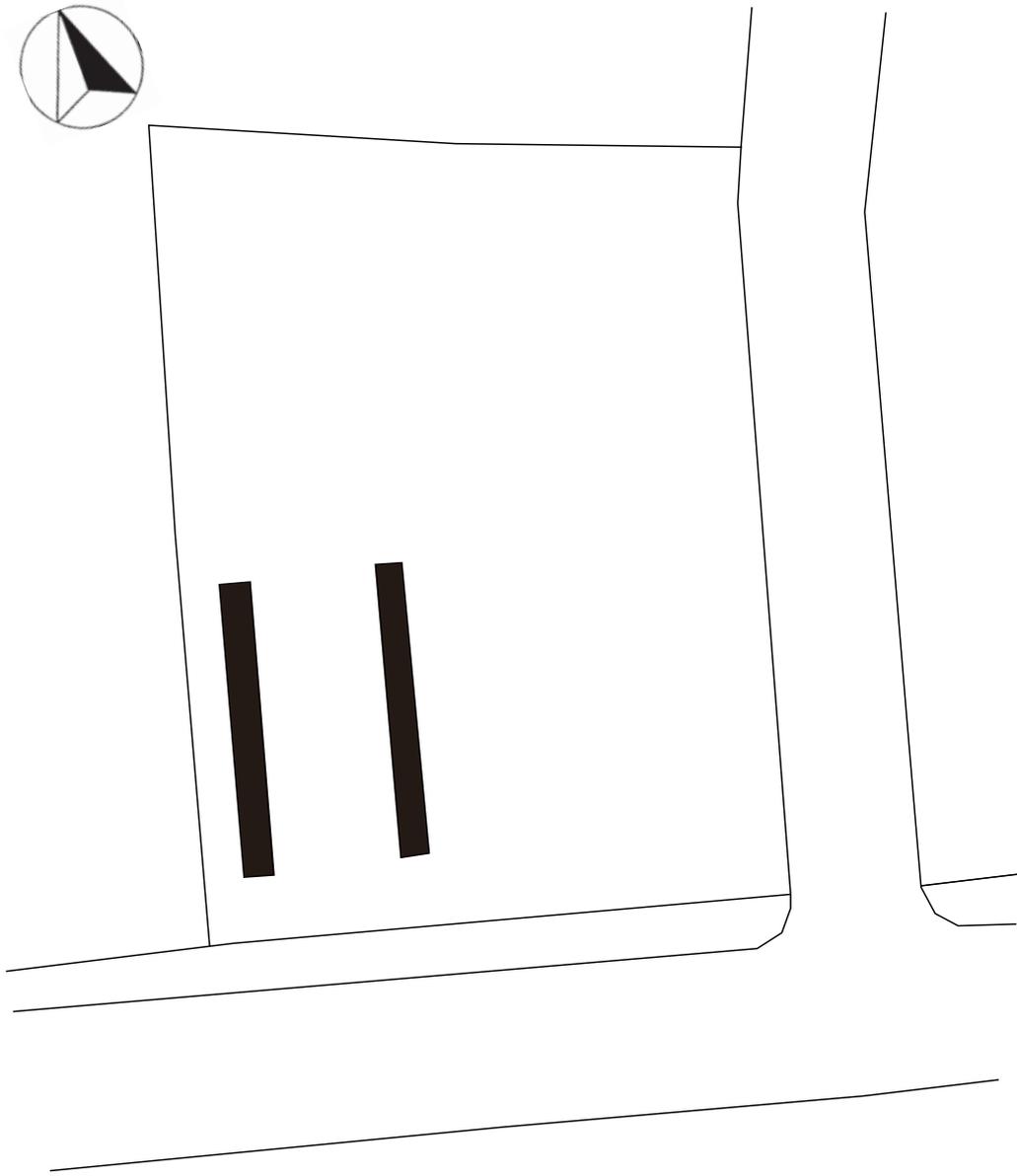
長峰遺跡は諏訪大社の御柱街道が通る台地の先端部に位置する。古くから知られた遺跡で、昭和24年には諏訪青陵高校地歴部により発掘がおこなわれている。その後の各種開発に伴う調査により、規模の大きい縄文時代の遺跡であることが判明している。時期は前期から後期まで継続するが中心は中期である。また、旧石器時代、平安時代の遺物も確認されている。市街地に比較的近いため、これまでに個人住宅や集合住宅などの調査や立会いを十数回おこなっている。

2 調査の概要

今回の調査では、計画地のうち、遺跡範囲に該当する西南部から、遺跡外にむかって南北方向にトレンチを2か所設定した。西側トレンチは、給・排水管理設区画のため現況地盤から約60cmまで掘削し、東側トレンチは50cm掘削した。調査の結果、遺物・遺構は発見されなかったため遺構分布が本計画地にまでは及んでいないと判断し、試掘調査を終了した。



第15図 長峰遺跡調査地点図(1/5000)



第 16 図 長峰遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 19 調査風景 (南西から)



図版 20 調査風景 (南から)

8 山田畑遺跡

遺跡番号 245-7
所在地 茅野市玉川 3338-2、3338-3
調査原因 宅地造成工事
調査期間 令和元年 12月9日～11日
調査面積 45㎡
遺構 縄文時代中期後半住居址、中期中葉土坑
遺物 縄文土器、黒曜石

1 遺跡の概要

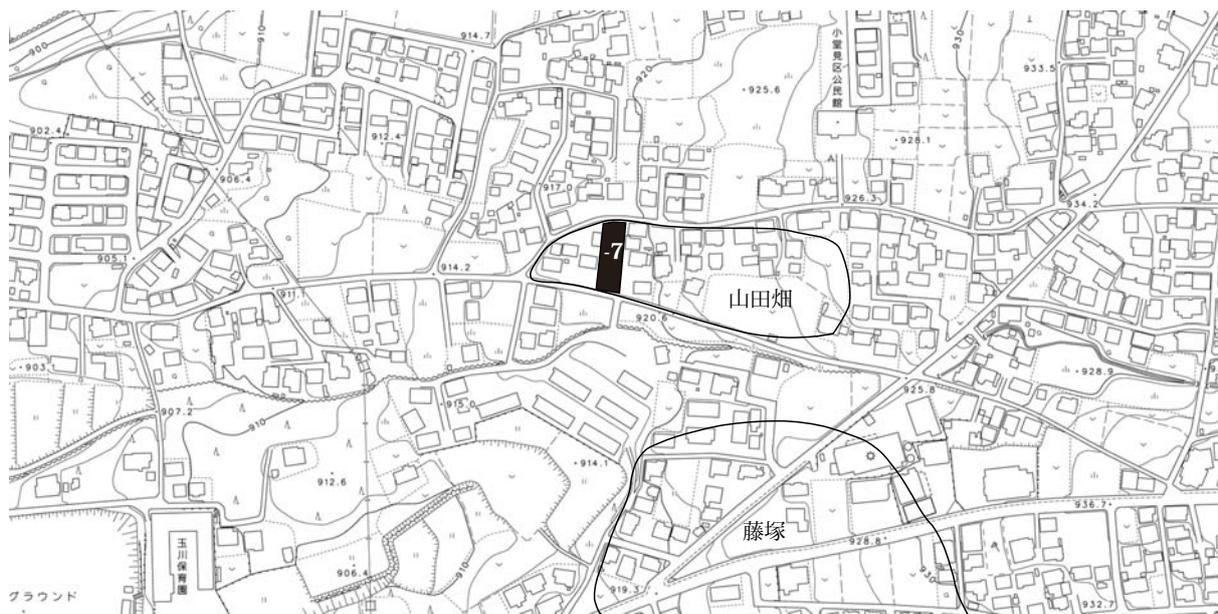
山田畑遺跡の発掘調査履歴は乏しいが、平成13年の道路工事にともなう発掘調査では、長さ約60m、幅約2.5mの約150㎡の範囲から、縄文時代中期後半以降とみられる29基の土坑が検出された。土坑には硬玉製垂飾や大形土器片が出土したものや、土層断面で黒(褐)色土の垂下層が確認できるものがある。前者は墓坑、後者は柱穴(方形柱穴列の可能性あり)とみられる。また、黒曜石の剥・碎片を廃棄したとみられる土坑が1基ある。竪穴住居址の検出こそなかったが、硬玉製垂飾をもつムラであることはその時期と性格を考える上で重要である。幅のある台地に立地し、土器、石器が多く拾える箇所もあることから、谷をはさみ南に位置する藤塚遺跡と並ぶ大集落の可能性はある。

2 調査の概要

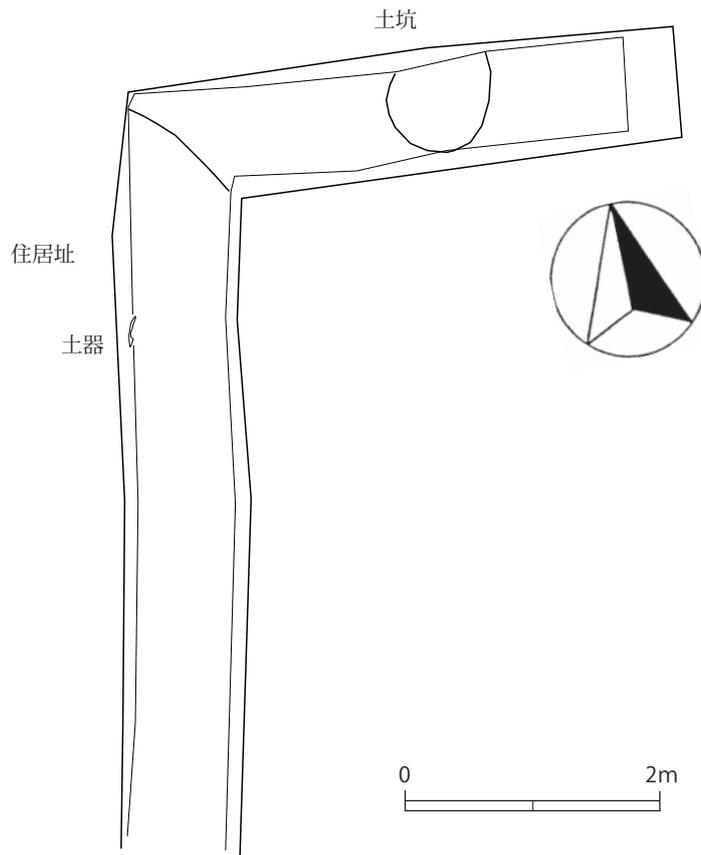
今回の調査では、擁壁埋設工事にともない、計画地の北、西面、中央東西方向に幅約1mでトレンチを設定し、試掘調査を行った。地表から約70～80cmほどの深さで、北トレンチで土坑、北西付近で住居址を検出した。そこで事業者と協議を行い、設計変更を行うことで、地表から約60cmまでの掘削と遺構が保護されることとなった。中央トレンチでは、地表から約60cmの深さで後期前半の土器片が出土したが、掘削は黒土層内にとどまり、遺構も検出されていない。以上から本工事は遺跡に影響を及ぼすものではないと判断した。

検出した遺構のうち、住居址は縄文時代中期後半のもので、土坑は中期中葉のものであるが、掘削が検出面より深くないことから、掘り下げを行っていない。

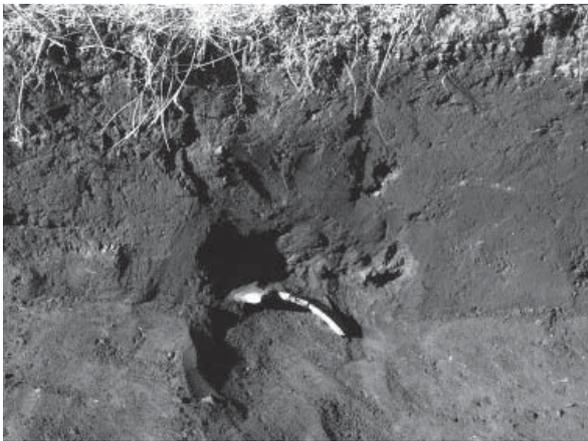
出土遺物には縄文時代中期中葉から後半、後期前半のものまで含まれ、遺跡が長期にわたって営まれていたことが確認できる。



第17図 山田畑遺跡調査地点図(1/5000)



第 19 図 遺構検出状況 (1/60)



図版 23 北西隅遺物出土状態



図版 24 土坑検出状態 (東から)



図版 25 調査風景（南から）



図版 26 西側調査風景（北から）



図版 27 住居址出土遺物

9 広井出遺跡

遺跡番号 236-1

所在地 茅野市湖東 3534、3535-1

調査原因 宅地造成工事

調査期間 令和元年 12月 25日

調査面積 32.8㎡

遺構 なし

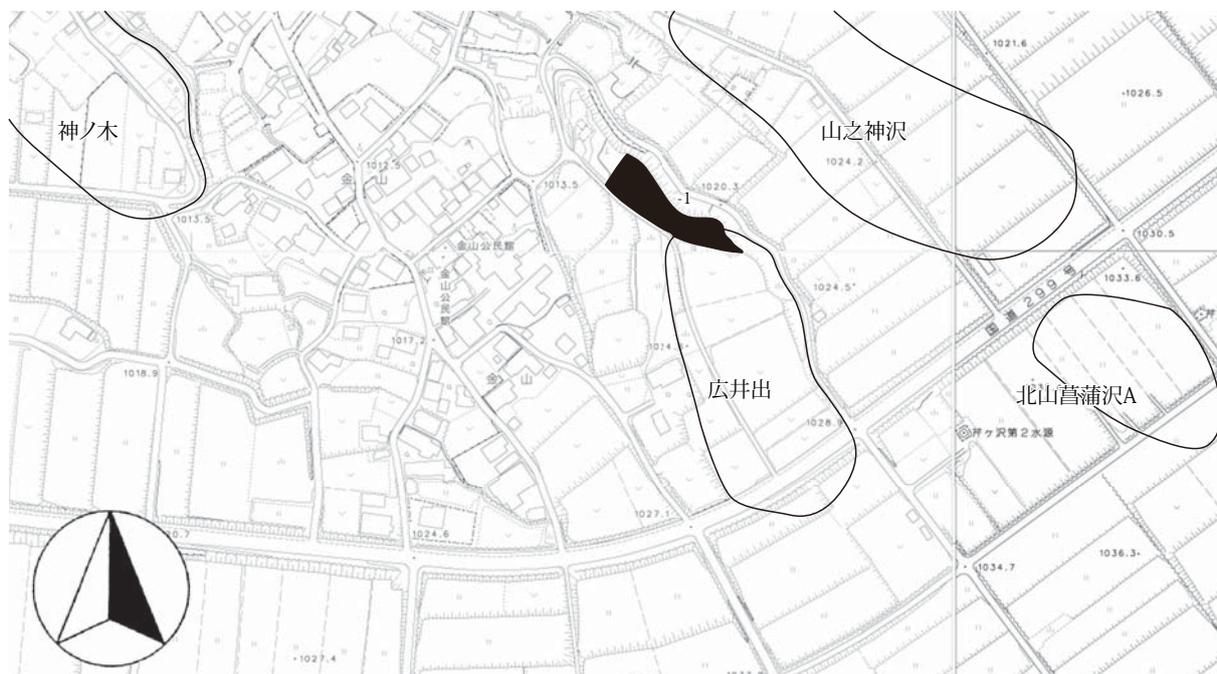
遺物 なし

1 遺跡の概要

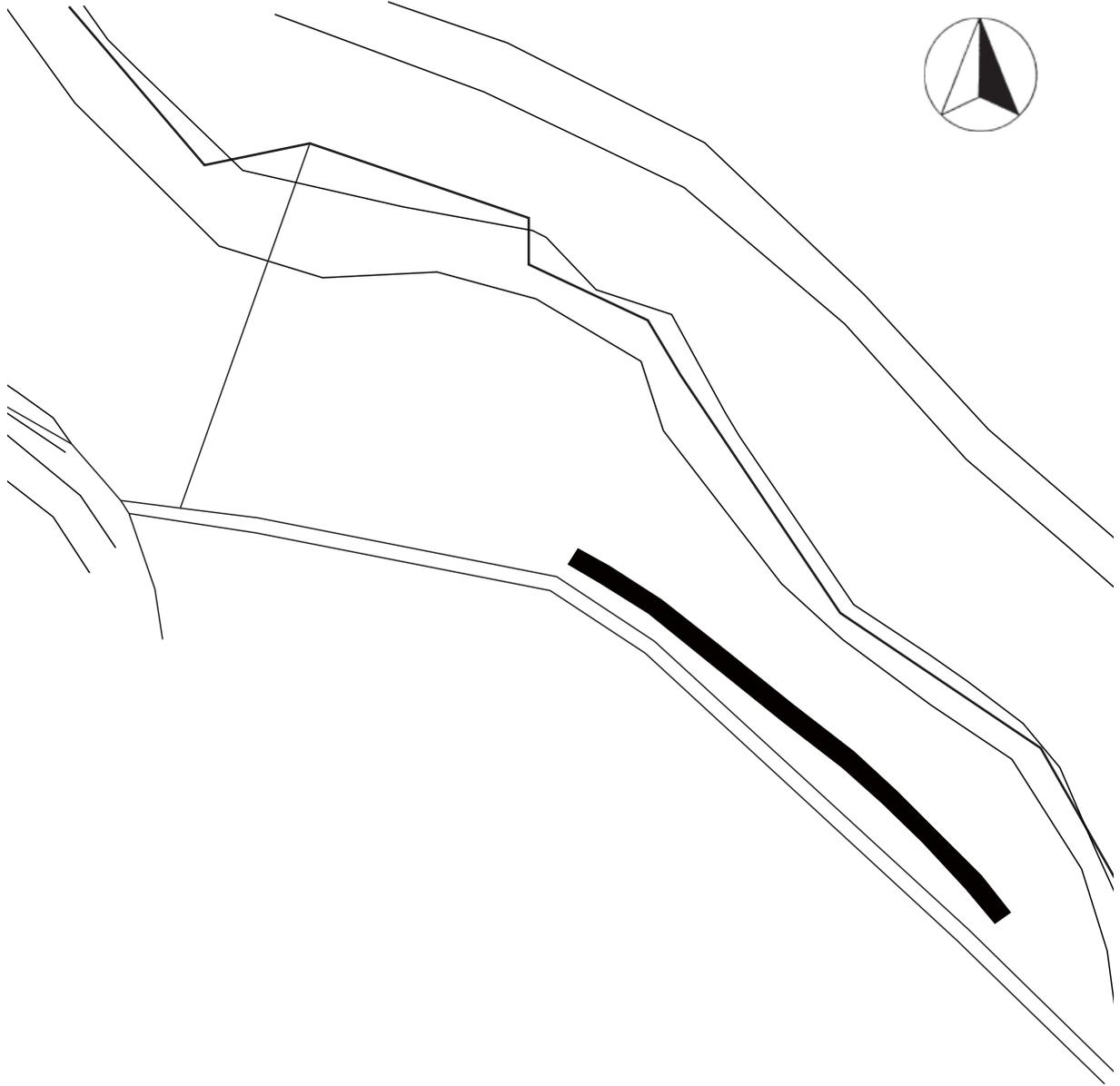
広井出遺跡は八ヶ岳西麓の先端に近い尾根状台地に所在する。台地は平坦部の幅が約 50m で、約 600m にわたって南東から北西へと延びている。周辺には縄文時代前期前葉の神ノ木式の標準遺跡である神ノ木遺跡や北山菖蒲沢 A 遺跡など、縄文時代前期を中心とした遺跡が展開する。平成 6 年におこなわれた圃場整備事業にともなう調査に際しては、縄文時代前期初頭および前期前葉の 2 期に属するとみられる住居址 10 軒が検出されている。

2 調査の概要

工事計画地のうち、遺跡範囲に該当するのは南東部である。したがって、計画地南東端から北東の範囲外へむけて南北方向に長いトレンチを設定し、重機により地山まで掘削した。調査範囲内に、遺構は検出されず、遺物の出土もなかった。以上から本工事は遺跡に影響を及ぼすものではないと判断した。



第 20 図 広井出遺跡調査地点図 (1/5000)



第 21 図 広井出遺跡調査範囲図 (1/400)



図版 28 調査風景 (北西から)



図版 29 調査風景 (東南から)

第3章 本調査および工事立会

1 藤塚遺跡

遺跡番号 162-31

所在地 茅野市玉川 3583 番 5

調査原因 個人住宅建設

調査期間 令和元年 11 月 19 日

調査面積 20m²

遺構 なし

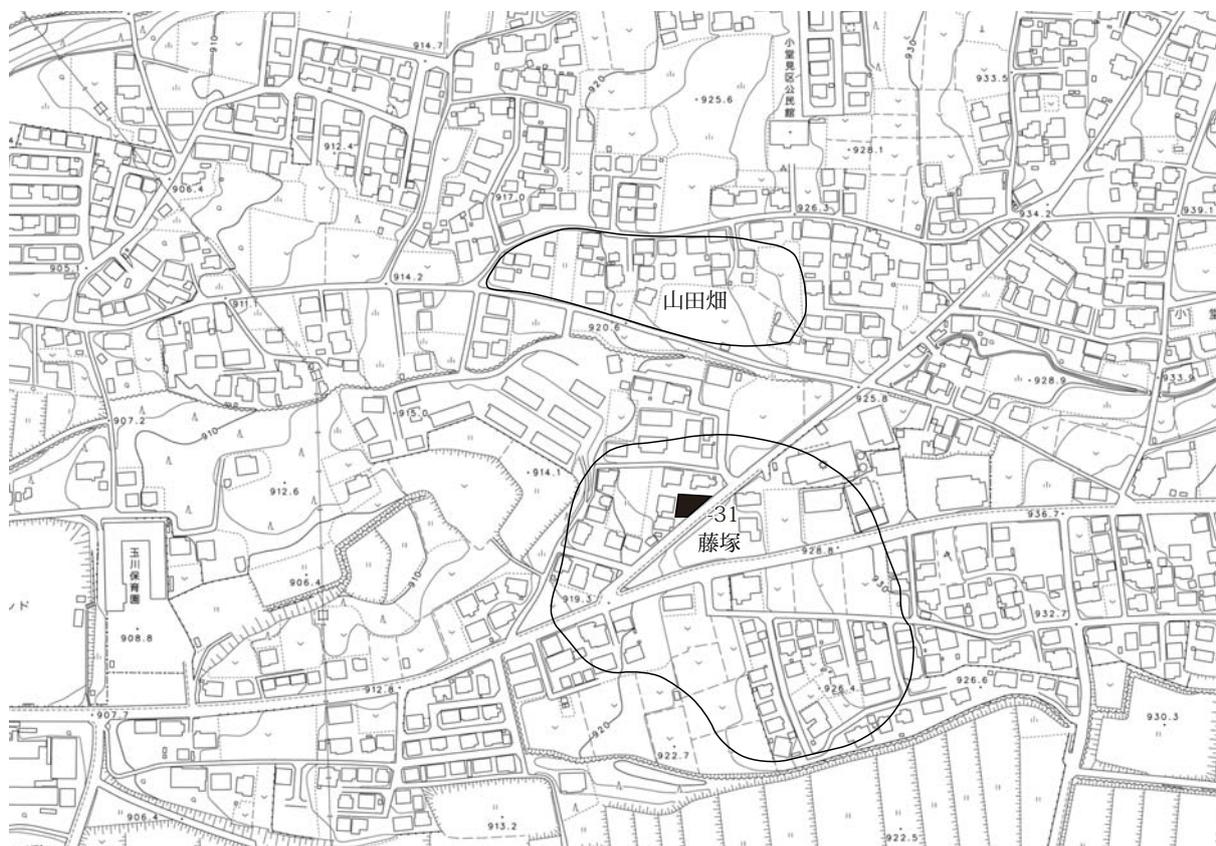
遺物 なし

1 遺跡の概要

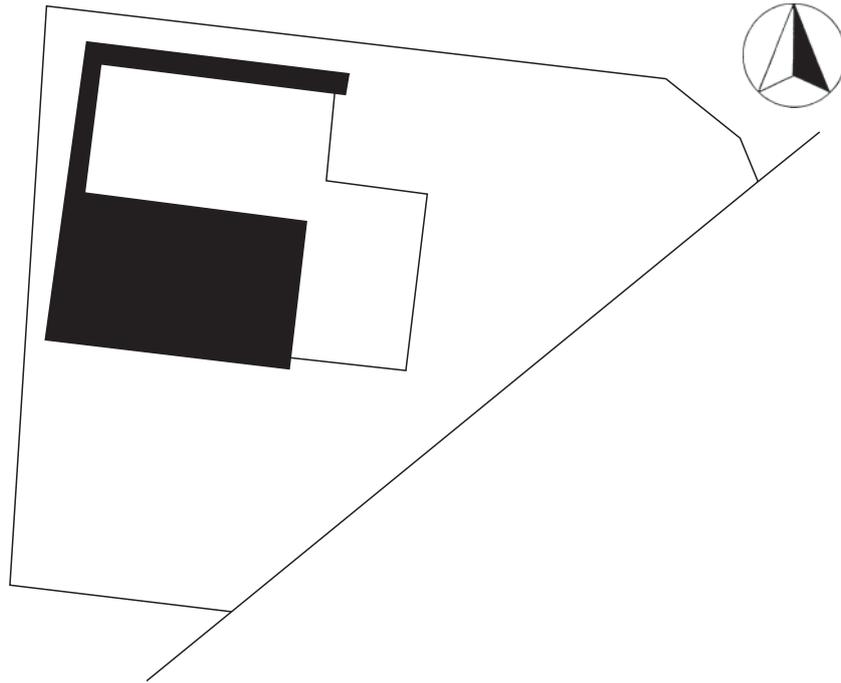
藤塚遺跡はこれまでにこなわれてきた大小の発掘調査により縄文時代中期、後期の遺跡であることが判明している。また住居址等の検出状況から環状集落を形成する規模の大きい遺跡と考えられるが、部分的な調査のみのため、遺跡のはっきりとした性格はわかっていない。

2 調査の概要

今回の調査は、個人住宅建設工事にともなうものである。敷地の現状は南にむかって傾斜しており、敷地のおよそ南半分に盛り土をおこなう。基礎工事については建物外周を布掘りで掘削し内側ですき取りをおこない、建物南西隅では碎石置換をおこなうものであった。また計画地東側の道路の歩道建設に際しては、縄文時代中期の土坑 1 基が検出されているが、基礎外周布掘りおよび碎石置換箇所について掘削をおこなったところ、ローム層に達したものの遺物・遺構は検出されなかった。



第 22 図 藤塚遺跡調査地点図 (1/5000)



第 23 図 藤塚遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 30 調査風景 (東から)



図版 31 調査風景 (東南から)

2 古御堂遺跡

遺跡番号 179-4

所在地 茅野市玉川 5688-3

調査原因 個人住宅建築

調査期間 令和元年 12月 23日

調査面積 23.5㎡

遺構 なし

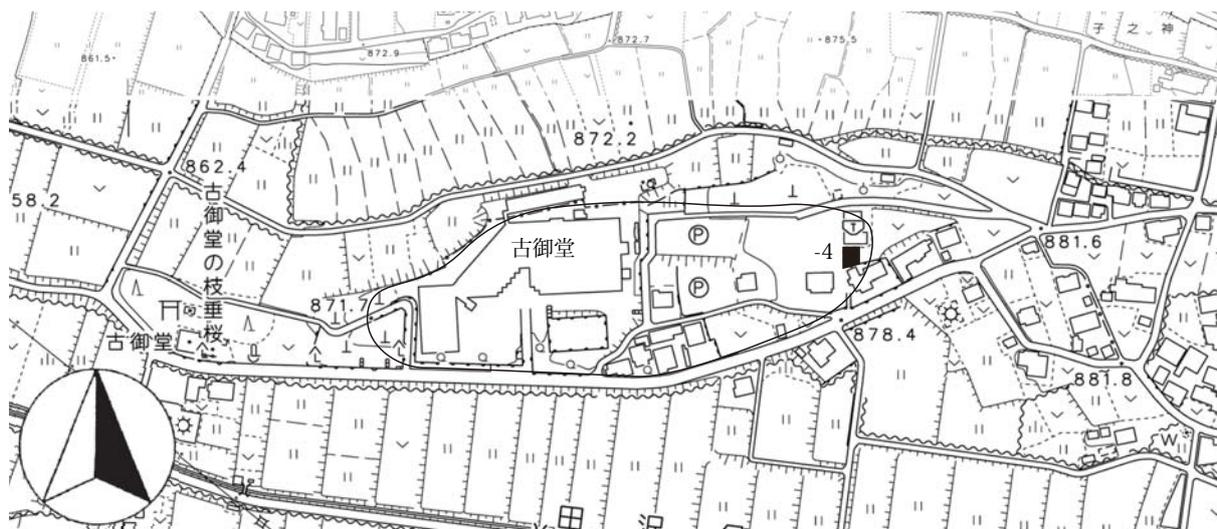
遺物 なし

1 遺跡の概要

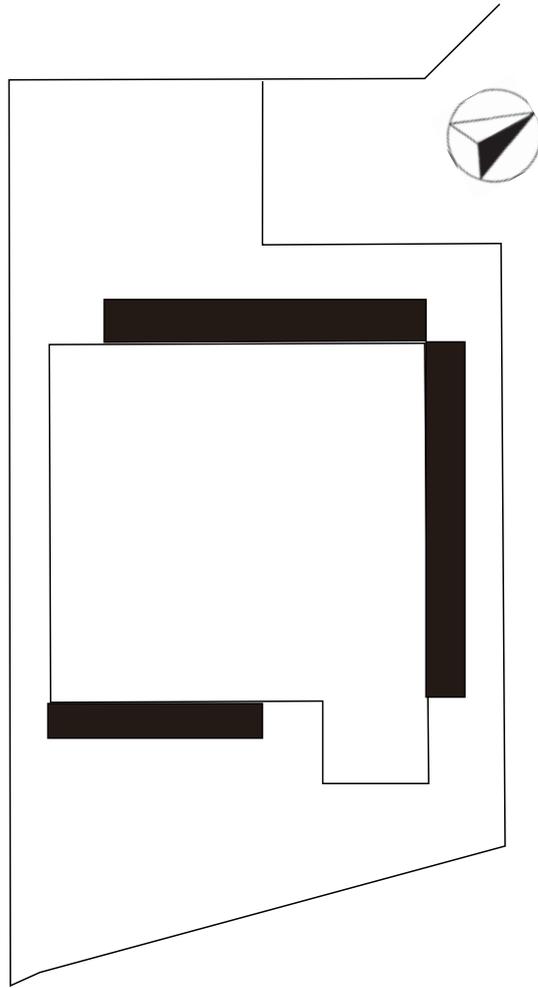
当遺跡は縄文時代中期と平安時代の集落遺跡で、東西に延びる痩せた台地に位置する。発掘調査は昭和 54 年と平成 3 年におこなわれ、平成 3 年の調査では縄文時代の住居址 7 軒と平安時代の住居址 1 軒が検出されている。

2 調査の概要

今回の調査は、個人住宅建設工事ともなうものである。基礎工事は柱状改良をおこなった後、基礎外周および内部を総掘りするものである。試掘調査としては外周の布基礎部分を計画深度まで掘削したところ、標高の高い側である東側でローム層の地山面が検出されたほかは埋土であり、遺物・遺構は確認されなかったため工事による遺跡への影響はないとみて調査を終了した。



第 24 図 古御堂遺跡調査地点図 (1/5000)



第 25 図 古御堂遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 32 調査風景 (東から)



図版 33 調査風景 (北東から)

3 中村遺跡

1 遺跡の概要

中村遺跡は茅野市西茅野土地区画整理事業にともない、発掘調査が実施されている。同調査は遺跡の破壊がおよぶ道路開設部分のみであるが、縄文時代中期、平安、中世、近世の各時代の遺構・遺物が発見されている。なお、中村遺跡に隣接して同時期の遺構・遺物が確認されている外垣外遺跡が展開している。



第 26 図 中村遺跡調査地点図 (1/5000)

遺跡番号 323-10

所在地 茅野市宮川 6056-11

調査原因 宅地造成

調査期間 令和元年 6 月 24 日

対象面積 1,040㎡

遺 構 なし

遺 物 なし

2 調査の概要

今回の調査は、宅地造成に伴う造成工事である。擁壁部分の掘削について、工事立会を行うが、遺構の検出はなく、遺物の出土もなかった。



図版 34 調査風景 (北西から)



図版 35 調査風景 (北から)

遺跡番号 323-11

所在地 茅野市宮川 6056-11

調査原因 個人住宅建築

調査期間 令和元年 9月 17日

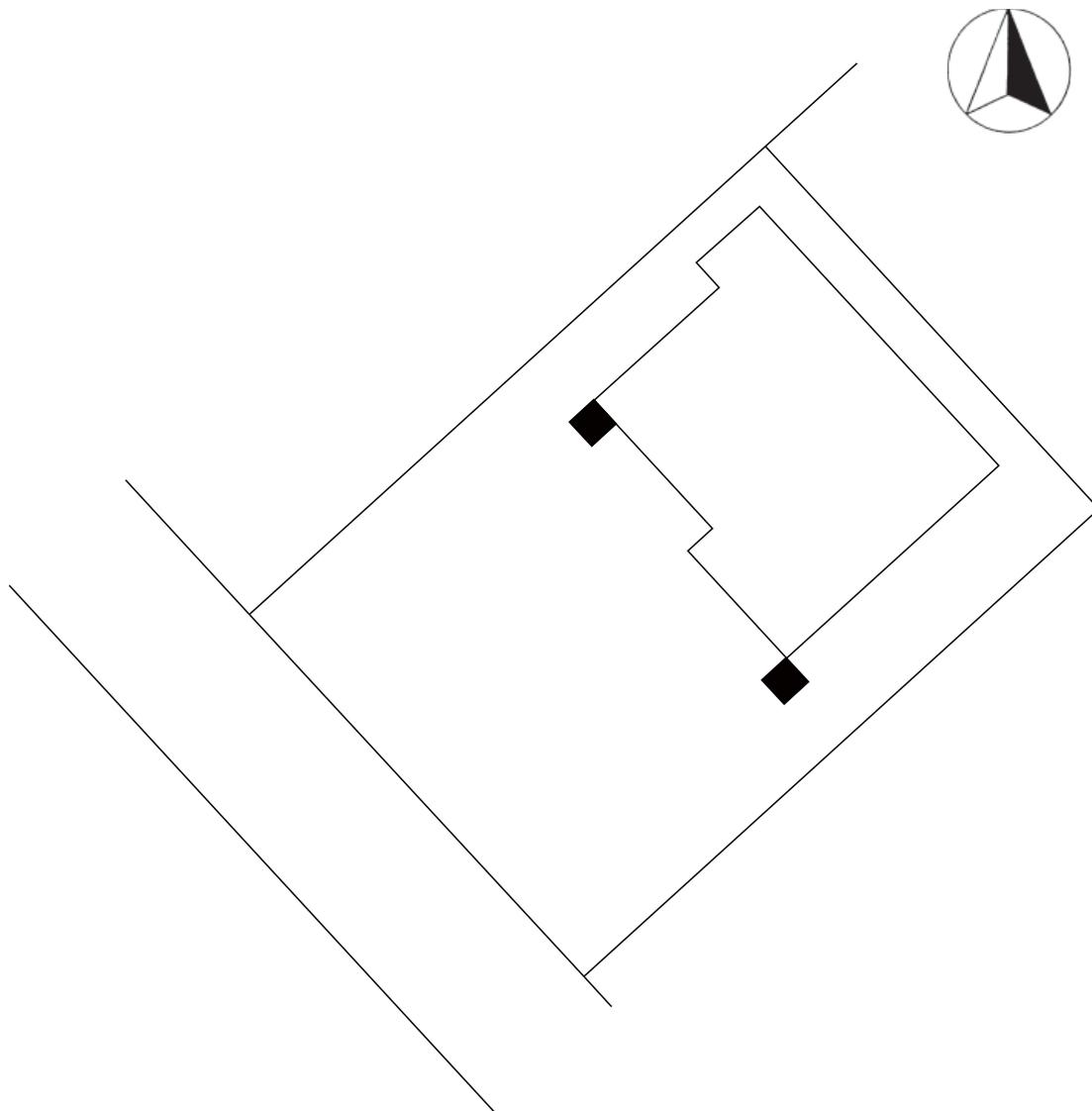
調査面積 1.62㎡

遺構 なし

遺物 なし

3 調査の概要

今回の調査は、個人住宅建設工事にともなうものである。基礎工事は基礎外周を布掘りするものである。試掘調査としては外周の布基礎予定部分 2か所にて計画深度まで掘削したところ、基礎工事が埋土内におさまり、かつ遺物・遺構も確認されなかったため工事による遺跡への影響はないとみて調査を終了した。



第 27 図 中村遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 36 調査風景（東から）



図版 37 調査風景（東から）

遺跡番号 323-12
所在地 茅野市宮川 6056-11
調査原因 個人住宅建築
調査期間 令和元年 11月 12日
調査面積 1.4㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 38 調査風景（北東から）

遺跡番号 323-13
所在地 茅野市宮川 6056-11
調査原因 個人住宅建築
調査期間 令和2年 1月 20日
調査面積 6㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 39 調査風景（南から）

4 林上遺跡

遺跡番号 347-4

所在地 茅野市玉川 10240-7

調査原因 個人住宅増築

調査期間 令和元年 11 月 12 日

調査面積 1.8㎡

遺構 なし

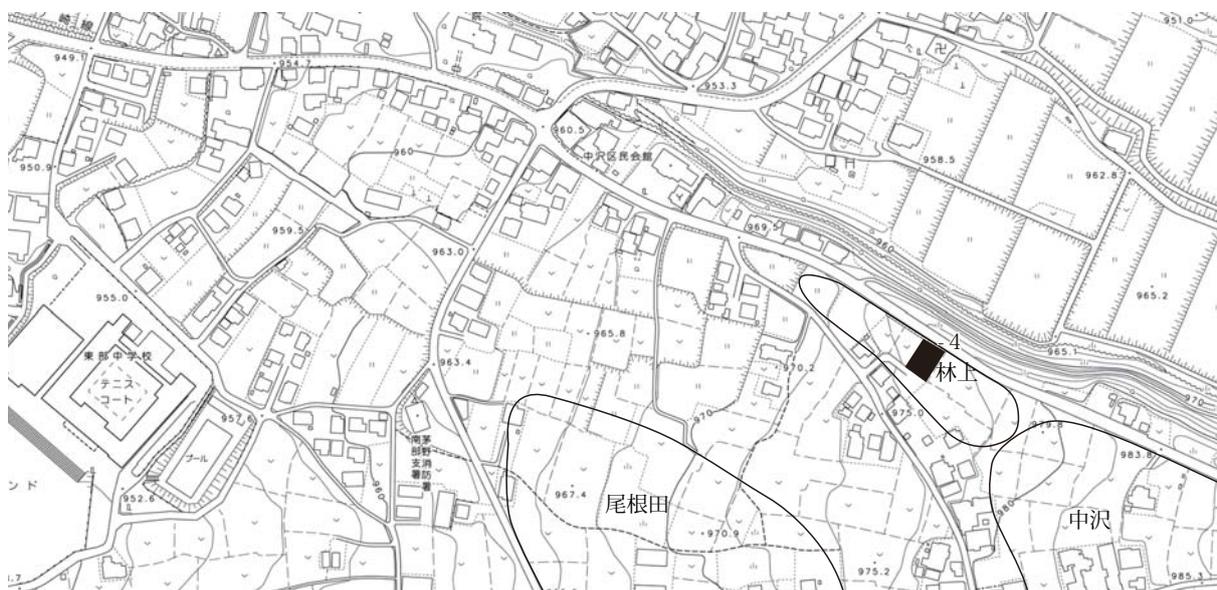
遺物 なし

1 遺跡の概要

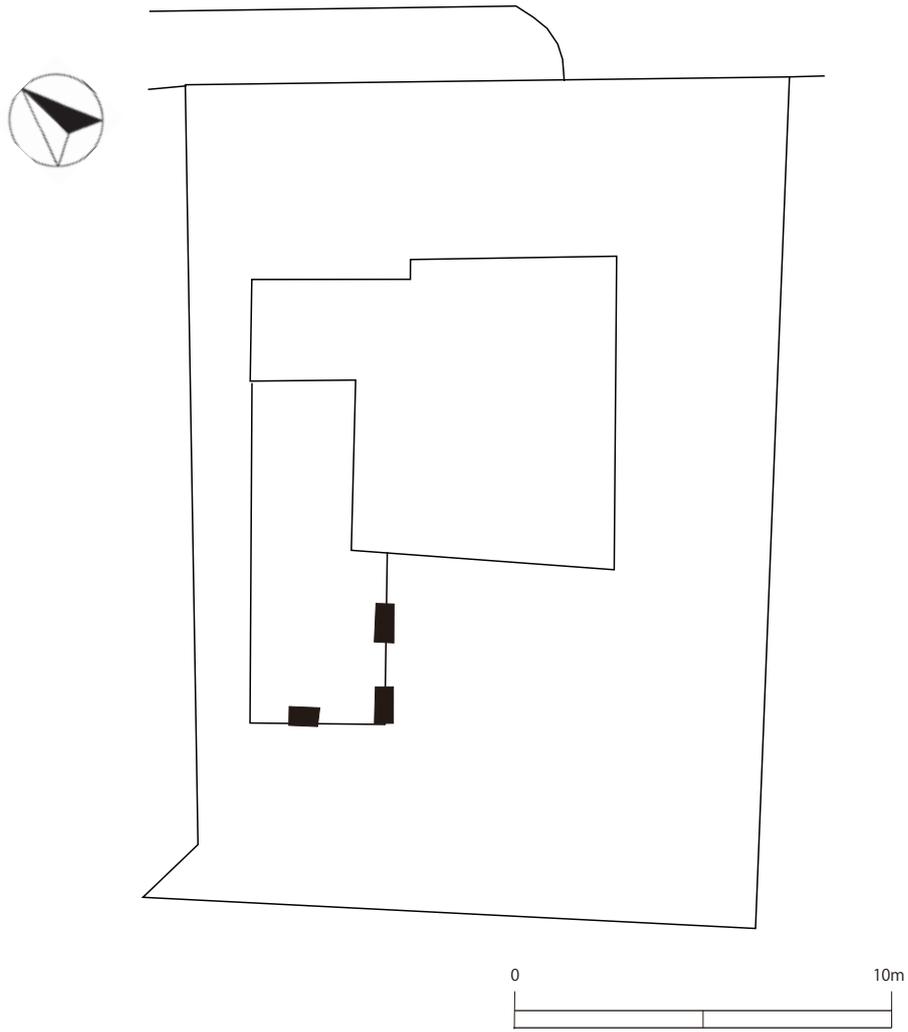
林上遺跡は中沢遺跡に隣接する土地に宅地造成が計画されたため試掘調査がおこなわれ、遺跡と確認された。確認された遺構は縄文時代の落とし穴であり、中沢遺跡の集落跡とは性格が異なることから、別の遺跡とすることとし、字名をとって林上遺跡としたところである。

2 調査の概要

今回の調査は、個人住宅の増築工事にとまなうものである。基礎工事は基礎外周を布掘りし、内部を土間状にすき取るものである。現地は宅地造成された区画のひとつであり、造成の際には試掘調査をおこなっている。その際には縄文時代の落とし穴 3 基と土坑 3 基、近世以降の溝址が 1 本検出されている。今回の計画地範囲内でも遺構が確認されていることから、当該増築地点においても遺構が検出される可能性が考えられたが、増築部基礎外周で試掘をおこなった結果、工事による掘削は盛土内に収まることが確認され、かつ遺物・遺構も確認されなかったため工事による遺跡への影響はないとみて調査を終了した。



第 28 図 林上遺跡調査地点図 (1/5000)



第 29 図 林上遺跡調査範囲図 (1/200)



図版 40 調査風景 (南東から)



図版 41 調査風景 (東から)

5 上原城下町遺跡

1 遺跡の概要

霧ヶ峰山塊の南縁を形成する永明寺山（1,156m）の南西一帯は、かつて城下町が形成されていたことから広く遺跡として認識されている。永明寺山裾より南にある上川沖積地に向かって広がる平坦な段丘面上に存在し、JR中央線と国道20号線に沿って長く伸びる。永明寺山山腹には多くの古墳が確認されており、それに応じるように本遺跡からも多くの住居址がみついている。近年では広範囲にわたる大小様々な発掘調査の継続により、その成果が集積されつつある。中世に築城された上原城とその城下町が遺跡名の由来であるが、現在ではそれ以上に弥生～古代、そして中世と長期にわたる人の生活の痕が次々と見ついている。また、そうした調査の中には数は少ないが縄文土器や石器、黒曜石といった遺物も出土している。

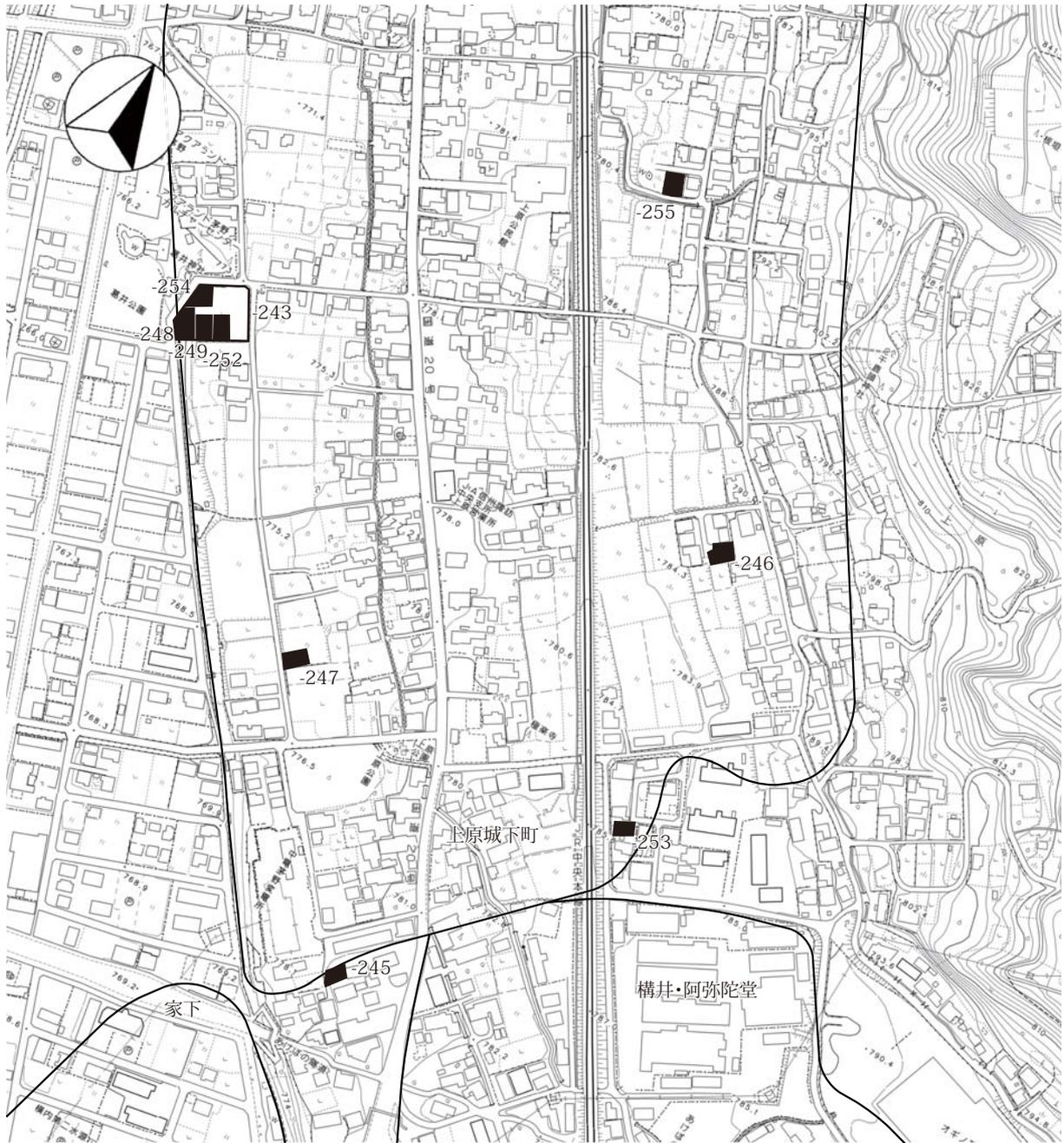
平成4年からの文化財保護法に基づく届け出は、245件に及び、平成30年度だけでも10件の届け出があった。その多くは個人住宅の建築に伴うもので、基礎工事の際に立会いを行っている。

工事立会では、掘削面が遺構検出面に達しないものもあり、遺構を確認しても掘削面がそれ以上深くない場合は、遺構の掘り下げは行わず、平面プランの測量を実施して終了となるものもある。

今年度発掘調査に至ったものはなく、すべて基礎工事の際の工事立会で、遺構検出面まで至っていないことを確認し、終了したものである。



第30図 上原城下町遺跡調査地点図(1)(1/5000)



第 31 図 上原城下町遺跡調査地点図 (2)(1/5000)

遺跡番号 224-245
 所在地 茅野市ちの 953-1、954 の一部、955 の一部
 調査原因 個人住宅増築
 調査期間 平成 31 年 4 月 22 日
 対象面積 468.06㎡
 遺 構 なし
 遺 物 なし

遺跡番号 224-246
所在地 茅野市ちの字原田 1103-1、1104-7
調査原因 個人住宅建築
調査期間 令和元年 7月 1日
対象面積 263.63㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 42 調査風景（北から）

遺跡番号 224-244
所在地 茅野市ちの字渋沢 607-3、608、609-1、610-1
調査原因 集合住宅増築
調査期間 令和元年 7月 25日
対象面積 1,463.36㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 43 調査風景

遺跡番号 224-243
所在地 茅野市ちの 829-1、262-1、-2、-8、-9
調査原因 宅地造成
調査期間 令和元年 8月 7日
対象面積 2,175.25㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 44 調査風景（東から）

遺跡番号 224-248
所在地 茅野市ちの字葛井 262-1
調査原因 個人住宅建築工事
調査期間 令和元年 10月 24日
対象面積 399.14㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 45 調査風景（東から）

遺跡番号 224-250
所在地 茅野市ちの 1775、1755-2 の一部
調査原因 寺院の書庫建築工事
調査期間 令和元年 11月 5日
対象面積 876.76㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 46 調査風景（東から）

遺跡番号 224-249
所在地 茅野市ちの字大町 829-10
調査原因 個人住宅建築工事
調査期間 令和元年 11月 7日
対象面積 184.47㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 47 調査風景



図版 48 調査風景

遺跡番号 224-253
所在地 茅野市ちの字塚原境 1000-21
調査原因 個人住宅建築工事
調査期間 令和元年 11月 14日
対象面積 298.39㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 49 調査風景 (南から)



図版 50 調査風景 (南から)

遺跡番号 224-247
所在地 茅野市ちの字大町 901-6、901-7
調査原因 個人住宅建築工事
調査期間 令和元年 11月 18日
対象面積 399.14㎡
遺 構 なし
遺 物 なし



図版 51 調査風景 (南から)



図版 52 調査風景 (南から)

6 日向上遺跡

1 遺跡の概要

日向上遺跡は、標高 920 メートルの台地上に位置し、『諏訪史』第 1 巻にも記録されるなど古くから知られた遺跡である。戦前に宮坂英弐氏が注目し、初めて竪穴住居址を完掘した遺跡としても知られる。現在の集落とほぼ範囲を同じくしているため、大規模な発掘は行われていないが、住宅の建設など何箇所か工事に際し立会を行い、縄文時代の住居址や中・近世の掘建柱建物址などが検出されている。

遺跡番号 74-11

所在地 茅野市豊平 3416-1

調査原因 個人住宅建築工事

調査期間 令和元年 12 月 9 日・18 日

対象面積 392.33㎡

遺構 なし

遺物 なし

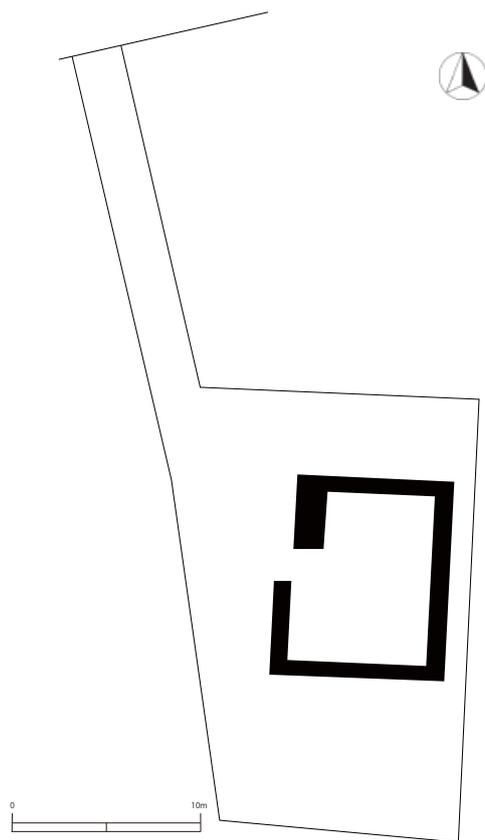
2 調査の概要

今回の届出は個人住宅の建て替え工事に伴うもので、日向上遺跡の東端にあたる。基礎工事は、床面のベタ基礎部が掘削深度約 25cm、外壁部の布基礎の掘削深度が約 60～80cm・幅約 60cm である。ベタ基礎部は掘削が浅く、布基礎部分は狭量であることから、今回の遺跡の保護措置は、工事立会いとした。

工事立会の結果、旧住宅の基礎の撤去と造成により、遺構検出面を確認できなかった。



第 32 図 日向上遺跡調査地点図 (1/5000)



第 33 図 日向上遺跡調査範囲図 (1/400)



図版 53 調査風景 (南から)



図版 54 調査風景 (西から)

7 一本榎遺跡

遺跡番号 107-8

所在地 茅野市塚原1丁目2426-1、2423-3

調査原因 個人住宅

調査期間 令和元年5月27・28日

対象面積 819.16㎡

遺構 なし

遺物 なし

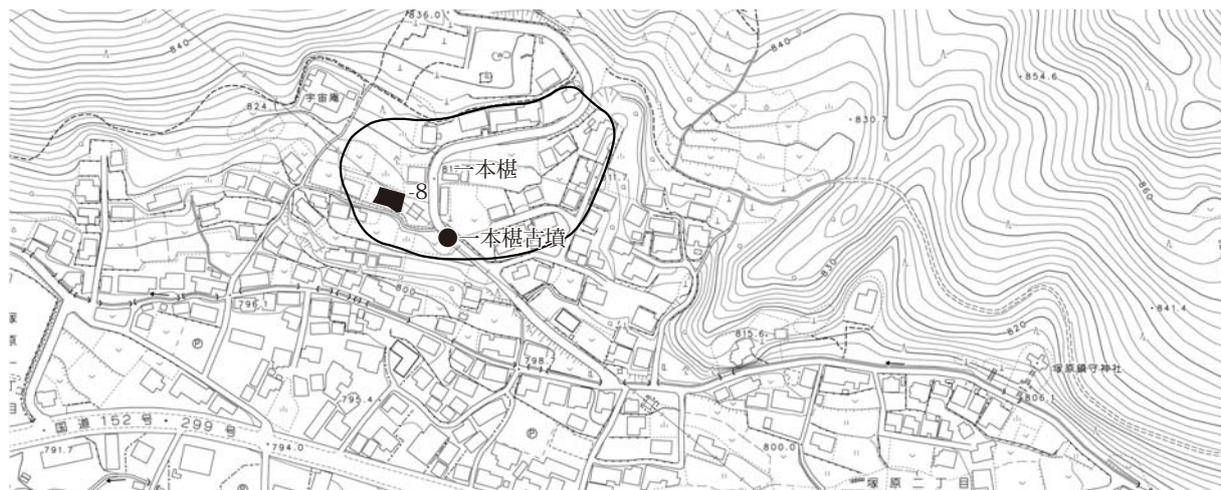
1 遺跡の概要

一本榎遺跡は縄文時代中期から古墳時代、平安時代から中世まで継続した集落遺跡で、古墳時代には「永明寺山腹古墳群」が築造されている。過去、複数回の発掘調査が行われている。昭和48年市道改良工事に伴う発掘調査では、縄文時代中期住居址と弥生時代後期住居址が各6軒、後期古墳が1基検出されている。

2 調査の概要

今回届出された工事は個人住宅建築工事に伴うものである。基礎は布基礎で60cmの掘削となることから遺構確認面に達する可能性のあることから、保護措置は工事立会いとした。

工事立会の結果、基礎による掘削が遺構検出面までで、遺構には影響のないことを確認した。また、掘削範囲に遺構の検出や遺物の出土もなかった。



第34図 一本榎遺跡調査地点図(1/5000)



図版55 調査風景(東から)

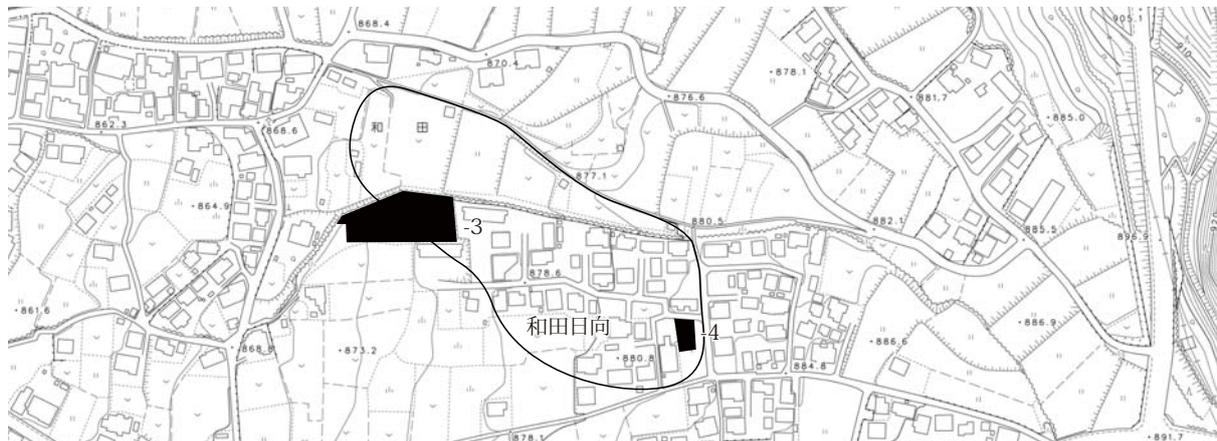


図版56 調査風景(東から)

8 和田日向遺跡

1 遺跡の概要

和田日向遺跡は小泉山西南麓から続く台地で、昭和44年に発掘調査された茅野和田遺跡と浅い谷を隔てた南側の台地に立地する。古くから遺物が採集されていたが、長らく遺跡の実態は不明であった。平成に入り、台地平坦面の頂部付近が宅地造成されることとなり調査を行った結果、縄文時代とみられる土坑が検出され、当時代の集落遺跡であることが確認された。



第35図 和田日向遺跡調査地点図(1/5000)

遺跡番号 157-3

所在地 茅野市玉川 2451

調査原因 太陽光発電設備設置

調査期間 令和元年9月27日

対象面積 1140㎡

遺構 なし

遺物 なし

2 調査の概要

今回届出された工事は太陽光発電設備設置工事に伴うものである。掘削は行わず、直径20cm、深さ140cmの杭を打ち込むものであることから、保護措置は工事立会いとした。

工事立会の結果、遺構の検出や遺物の出土もなかった。



図版57 調査風景(東から)



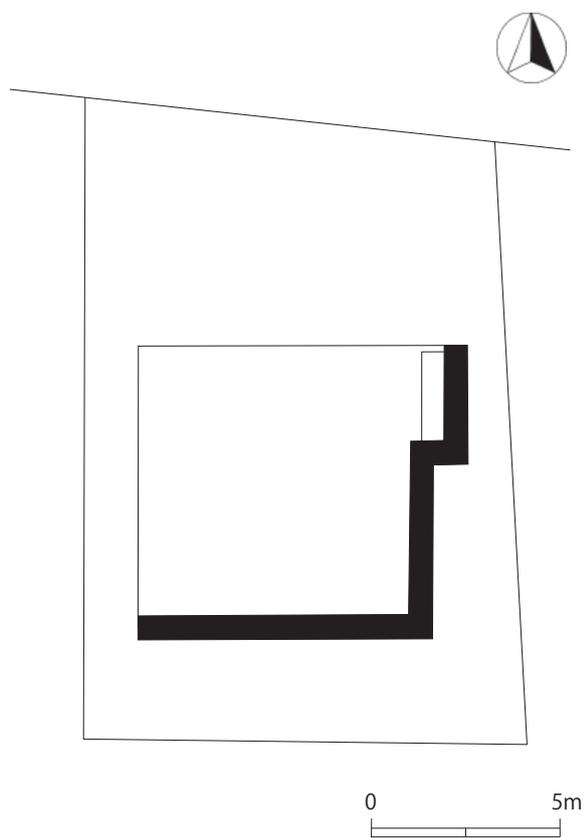
図版58 調査風景(東から)

遺跡番号 157-4
 所在地 茅野市玉川字後原 2406 番の一部
 調査原因 個人住宅建築工事
 調査期間 令和2年3月3日
 対象面積 184.85㎡
 遺構 なし
 遺物 なし

3 調査の概要

当地は和田日向遺跡の東端にあたる場所である。今回の工事は、個人住宅の建築工事に伴うもので、外周を深さ80cm、幅約50cmで掘削し、内側を19センチ掘削する。掘削にかかる部分が狭窄であることから、工事立会を行った。

工事立会の結果、土層の堆積状態は良好であるものの、遺構の検出や遺物の出土はなかった。



第36図 林和田日向遺跡調査範囲図(1/600)



図版 59 調査風景（北から）



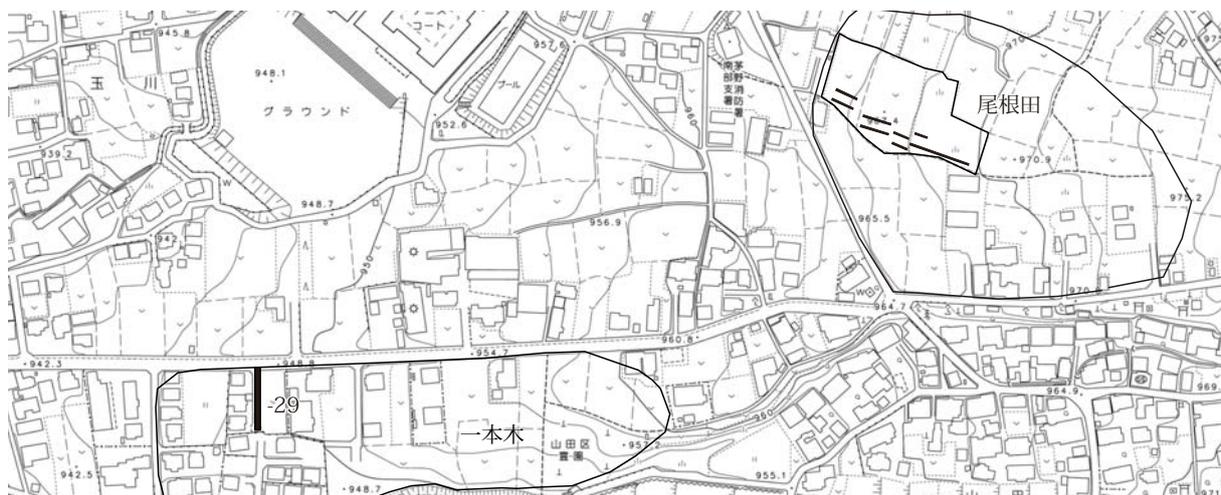
図版 60 調査風景（北から）

9 一本木遺跡

1 遺跡の概要

一本木遺跡は八ヶ岳西麓の東西に延びる台地の南側斜面に立地する。縄文時代中期末葉の土器や石器などが採集されたことで遺跡登録されているが、発掘調査歴に乏しく、急速な宅地化に伴う原地形の改変も進み、遺跡の実体や範囲は不明瞭である。

平成 26 年度には宅地造成に伴い発掘調査を行い、落とし穴 4 基を検出している。また平成 29 年度にも宅地造成でその隣接地を調査し、落とし穴 4 基と、土坑 2 基を検出している。



第 37 図 一本木遺跡・尾根田遺跡調査地点図 (1/5000)

遺跡番号 163-29

所在地 茅野市玉川 8472-1、-15 番地先

調査原因 ブロック塀撤去、法面整形工事

調査期間 令和元年 8 月 21 日

対象面積 21.8㎡

遺 構 なし

遺 物 なし

2 調査の概要

道路敷きと農地との間の擁壁が道路側に傾いており、危険であるため撤去する作業に工事立会を行った。東側の畑となっている部分についても耕作土の撤去に際し注意深く観察するが、遺構遺物なし。



図版 61 調査風景（北から）



図版 62 調査風景（北から）

10 尾根田遺跡

1 遺跡の概要

尾根田遺跡は八ヶ岳山麓の台地に立地する縄文時代の集落遺跡である。過去数回にわたる発掘調査が行われ、土坑が1基検出されている。また、耕作の際に中期中葉期の一括土器が発見され、その場所は当該期の竪穴住居址であるとみられている。

遺跡番号 164-5

所在地 茅野市玉川 10135、10136、10137、10181、10182、10183

調査原因 太陽光発電施設工事

調査期間 令和元年6月4・5日

対象面積 4311㎡

遺構 なし

遺物 なし

2 調査の概要

太陽光発電に伴う工事立会。地元からの要望で、雨水浸透施設を設置することになり、幅30～50cm、深さ50cmの溝を掘削するため立会を行う。溝は8本に上り、1日での立会で終わらなかったため、翌日も引き続き溝の掘削工事に立ち会うが、遺構の検出や遺物の出土はなかった。



図版 63 調査風景（北から）



図版 64 調査風景（北から）

11 埴原田遺跡

1 遺跡の概要

埴原田遺跡は、『米沢村村史』に記載の「米沢地区の遺跡一覧表」に挙げられている縄文時代の遺跡であるが、遺物等の出土記録は不明であり、時期も分かっていない。また、近隣での調査履歴もなく、実態が不明の遺跡である。

遺跡番号 215-1

所在地 茅野市米沢 291～299

調査原因 舗装改良工事

調査期間 令和2年2月19日

対象面積 393㎡

遺構 なし

遺物 なし

2 調査の概要

道路の舗装改良工事。道路幅で2mのトレンチを4カ所あけるが、北側は盛土内、南側は前回の道路工事の掘削範囲内であることを確認した。



第38図 埴原田遺跡調査地点図(1/5000)



図版65 調査風景(北から)



図版66 調査風景(北から)

12 中島遺跡

1 遺跡の概要

中島遺跡では、平成 17 年度に個人住宅建築に伴う発掘調査が行われ、縄文時代（後晩期？）の掘立柱建物址が検出されている。また、平成 25 年に、個人住宅建築の際の試掘調査を行っており、多数の縄文時代後期の土器や黒曜石、石器などが出土している。

遺跡番号 246-9

所在地 茅野市玉川字中島 1347

調査原因 個人住宅建築工事

調査期間 令和元年 12 月 24 日

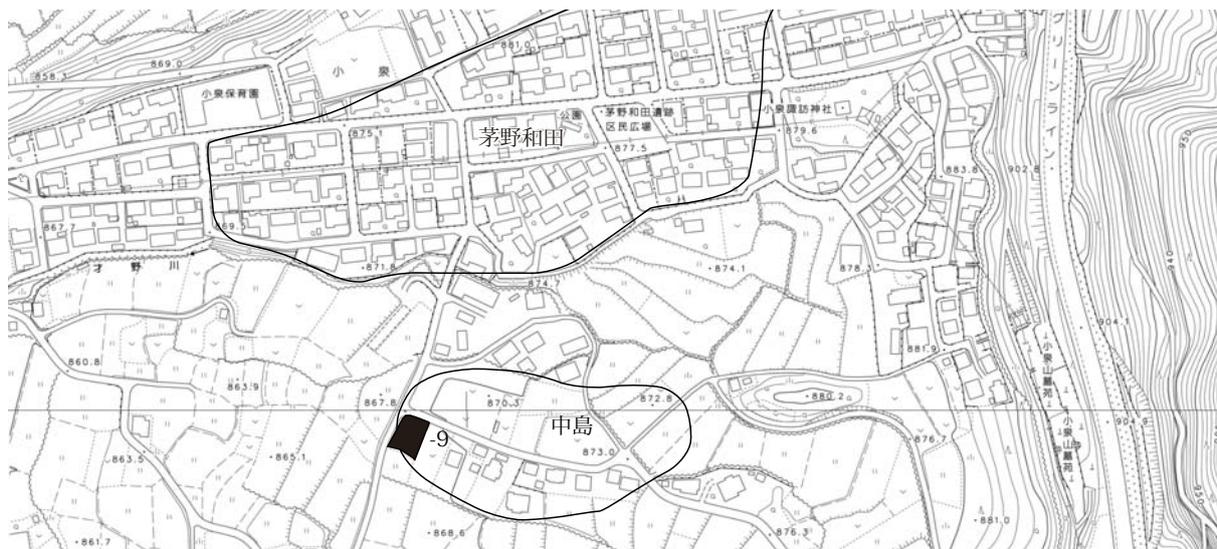
対象面積 466.82㎡

遺構 なし

遺物 なし

2 調査の概要

建築範囲の北西隅及び南東隅で確認を行うが、計画深度の 60cm ほどを掘り下げて、ちょうど遺構確認面に達する。遺構の検出や遺物の出土はなかった。



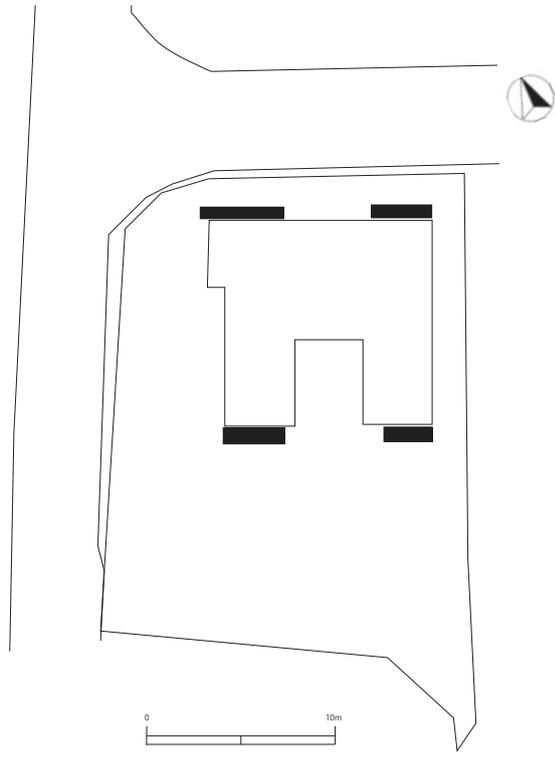
第 39 図 中島遺跡調査地点図 (1/5000)



図版 67 調査風景（北から）



図版 68 調査風景（北から）



第 40 図 中島遺跡調査位置図 (1/400)

報告書抄録

ふりがな	しないいせきじゅうよん					
書名	市内遺跡14					
副書名	令和元年度 埋蔵文化財発掘調査報告書					
巻次						
シリーズ名						
シリーズ番号						
編著者名	堀川洸太郎・小林深志・鶴飼幸雄					
編集機関	茅野市教育委員会					
所在地	〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番地1号 TEL0266-72-2101					
発行年月日	西暦2020年7月31日					
ふりがな 遺跡名	所在地	市町村コード	調査期間	調査面積 対象面積 (㎡)	調査原因	発見遺構
		遺跡番号				発見遺物
あらいした 新井下	茅野市湖東5657-6	20214	令和元年9月5日	375.97	個人住宅建築	近現代の土坑1
		59-20				なし
あらいした 新井下	茅野市湖東5453番1 5453番3、5460番1の 一部	20214	令和元年12月13日～ 16日	289.9	倉庫建設	方形柱穴列1、土坑、焼土
		59-21				縄文土器、黒曜石、石器
なかっぱら 中ッ原	茅野市湖東6452番1	20214	令和元年7月23日～ 8月26日	108.4	太陽光発電施設 建設	縄文時代住居址4、土坑3
		60-1				縄文土器、石器
なしのき 梨ノ木	茅野市豊平4927番1 7280番1	20214	令和元年7月19日～ 23日	298.6	建設資材置場 造成	なし
		77-5				なし
むかいっぱら 向原	茅野市豊平2471-1	20214	令和2年2月18日～ 3月25日	80	宅地造成	なし
		79-14				なし
いえした 家下	茅野市ちの2575-2	20214	令和元年7月18日	667.17	宅地造成	なし
		110-67				なし
いえした 家下	茅野市ちの2575-6、 -7	20214	令和2年1月8日	334.68	宅地造成	なし
		110-68				なし
いえした 家下	茅野市ちの字横内境 296番地	20214	令和2年3月23日	600	駐車場造成	なし
		110-69				なし
まえみや 前宮	茅野市宮川2044、 2041、2042	20214	平成31年4月26日～ 令和元年6月6日	52.4	公園建設	なし
		129-25-2				土師器、須恵器、灰釉陶 器、かわらけ
ながみね 長峰	茅野市玉川4605-1、 -2	20214	令和2年1月8日	12.8	店舗建築工事	なし
		145-27				なし
やまだばたけ 山田畑	茅野市玉川3338-2、-3	20214	令和元年12月9日～ 11日	45	宅地造成	縄文時代中期後半住居址、 中期中葉土坑
		245-7				縄文土器、黒曜石、石器
ひろいで 広井出	茅野市湖東3534、 3535-1	20214	令和元年12月25日	32.8	宅地造成	なし
		236-1				なし
ふじつか 藤塚	茅野市玉川3583番5	20214	令和元年11月19日	20	個人住宅建設	なし
		162-31				なし
ふるみどう 古御堂	茅野市玉川5688-3	20214	令和元年12月23日	23.5	個人住宅建築	なし
		179-4				なし
なかむら 中村	茅野市宮川6056-4 -11	20214	令和元年6月24日	1040	宅地造成	なし
		323-10				なし
なかむら 中村	茅野市宮川6056-11	20214	令和元年9月17日	1.62	個人住宅建築	なし
		323-11				なし

なかむら 中村	茅野市宮川6056-14	20214	令和元年11月12日	14	個人住宅建築	なし
		323-12				なし
なかむら 中村	茅野市宮川6056-15	20214	令和2年1月20日	6	個人住宅建築	なし
		323-13				なし
はやしうえ 林上	茅野市玉川10240-7	20214	令和元年11月12日	1.8	個人住宅増築	なし
		347-4				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの953-1 954の一部 955の一部	20214	平成31年4月22日	468.06	個人住宅建築	なし
		224-245				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字原田 1103-1、1104-7	20214	令和元年7月1日	263.67	個人住宅建築	なし
		224-246				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字渋沢 607-3、608、609-1 610-1	20214	令和元年7月25日	1463	集合住宅建築	なし
		224-244				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの829-1 862-1、-2、-8、-9	20214	令和元年8月7日	2175.25	宅地造成	なし
		224-243				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字葛井 262-1	20214	令和元年10月24日	399.14	個人住宅建築	なし
		224-248				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの1775、 1755-2の一部	20214	令和元年11月5日	876.76	寺院の書庫建築	なし
		224-250				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字大町 829-10	20214	令和元年11月7日	184.47	個人住宅建築	なし
		224-249				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字塚原境 1000-21	20214	令和元年11月14日	298.39	個人住宅建築	なし
		224-253				なし
うえはらじょうかまち 上原城下町	茅野市ちの字塚原境 1000-21	20214	令和元年11月18日	399.14	個人住宅建築	なし
		224-247				なし
ひなたうえ 日向上	茅野市豊平3416-1	20214	令和元年12月9・ 18日	392.33	個人住宅建築	なし
		74-11				なし
いっぼんざわら 一本椏	茅野市塚原1丁目 2426-1、2423-3	20214	令和元年5月27・ 28日	819.16	個人住宅建築	なし
		107-8				なし
わだひなた 和田日向	茅野市玉川2451	20214	令和元年9月27日	1140	太陽光発電 施設建設	なし
		157-3				なし
わだひなた 和田日向	茅野市玉川 2406番の一部	20214	令和2年3月3日	184.85	個人住宅建築	なし
		157-4				なし
いっぼんぎ 一本木	茅野市玉川 8472-1 -15番地先	20214	令和元年8月21日	21.8	ブロック塀撤去 法面整形工事	なし
		163-29				なし
おねだ 尾根田	茅野市玉川 10135、10136、 10137、10181、 10182、10183	20214	令和元年6月4・5日	4311	太陽光発電 施設建設	なし
		164-5				なし
はいばらだ 埴原田	茅野市米沢292～ 299	20214	令和2年2月19日	393	舗装改良工事	なし
		215-1				なし
なかじま 中島	茅野市玉川字中島1347	20214	令和元年12月24日	466.82	個人住宅建築	なし
		246-9				なし

市内遺跡 14

—令和元年度 埋蔵文化財発掘調査報告書—

令和2年7月31日 印刷

令和2年7月31日 発行

編集 茅野市教育委員会

発行 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 (0266) 72 - 2101(代)

印刷
